

事務事業評価シート（1/2）

385 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0129
 評価年度 令和 4年度
 所属 1440
 事務事業番号 00457

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所保健総務課
 総合保健対策事業

所属長名 大石 達也
 記入者 北川 芳伸

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	006	総合保健対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	(事業概要) 地域保健対策の推進のため、市内3か所の看護学校の運営に対して補助金を交付するとともに、化学物質過敏症対策や献血推進、地域職域連携などに関する事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 医療の高度化や急速な高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症への対応などに伴い多様化する医療ニーズに対応するため、看護職員の確保と質の向上を図っていくことが求められている。 (見直しや改善等の経過) 医療の高度化や医療ニーズの多様化により、専門的知識を持つ看護師の確保が不可欠となることから、看護学校への補助金を継続し、補助金制度適正化方針により設定している補助金の終期を令和7年度に延長している。また、令和3年度から骨髄等移植ドナー助成事業を実施している。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	関係機関、団体及び市民を対象に
目的(何のために)	地域の保健医療の推進を図るため
手段(どのようなやり方で)	補助金を交付するとともに、各事業の実施にあたっては、関係機関、団体と連携を図り事業を推進することで
成果(どのような状態にするのか)	地域保健医療が確保されることにより、市民が住み慣れた地域で安心して生活できる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,528	11,571	11,801	12,380	12,380	12,380	12,380
事業費	8,808	7,359	7,589	8,168	8,168	8,168	8,168
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	170	210	280	280	280	280	280
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	8,638	7,149	7,309	7,888	7,888	7,888	7,888
人件費計	4,720	4,212	4,212	4,212	4,212	4,212	4,212
事務・技術(人)	0.59	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54	0.54
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

386 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0129
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 00457 総合保健対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-01-00	総合保健対策事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)看護学校運営費補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00
		6,800.00	6,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)献血会場の提供回数	回	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)看護師及び准看護師試験合格者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		63.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)献血者数	人	375.00	470.00	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00
		427.00	510.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	看護職の養成に係る運営補助を市が積極的に取り組む必要がある。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	看護職の合格者数、献血者数ともに増加した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	補助金交付により各看護学校の経営を支援している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	地域医療における人材及び資源の確保につながっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	医療人材を安定して確保するためには、持続的な看護職の養成が必要であることから、補助事業について効果的な方法を検討し継続する。献血事業は、献血の意義や必要性について、特に若年層への啓発を通じ、献血者の確保に努めるとともに、骨髄等移植ドナー助成金については、市民や事業者に対しての周知に努め、骨髄等の移植の促進を図る。また、職域等関係団体との連携強化により健康管理支援の推進を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	看護学校への運営補助については、当該事業の果たす役割を考慮し地域における人材確保の強化に努める。献血及びドナー助成事業については、市民・事業者へ広く周知し、地域の医療資源の確保に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00457 総合保健対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)看護学校運営費 補助金交付額	千円	6,800.00	6,800.00	6,800.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00	7,350.00
	指標説明	6,800.00	6,800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		看護学校の運営に関し補助金を交付						
(活動)献血会場の提供 回数	回	4.00	4.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	4.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		献血会場の提供回数						
(成果)看護師及び准看 護師試験合格者数	人	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	63.00	78.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		補助する看護学校における看護師及び准看護師試験合格者数						
(成果)献血者数	人	375.00	470.00	510.00	510.00	510.00	510.00	510.00
	指標説明	427.00	510.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		全血献血の献血者数の合計人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0130
評価年度 令和 4年度
所属 1440
事務事業番号 02380

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所保健総務課
健康危機管理体制整備事業

所属長名 大石 達也
記入者 井上 誠

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	004	健康危機管理体制整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等						

事業概要	<p>(事業概要) 健康危機事案が発生した場合に、迅速かつ効果的な対応を行うため、平常時より健康危機事案の発生に備えて事前に講じられる対策を検討する。 災害発生時において関係機関等と連携を図り医療救護活動を円滑に進める体制整備を行う。 災害発生時に備えるため、医薬品の備蓄や災害対策備品の確保と維持を行う。</p>
------	---

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 近年、巨大地震や頻発する豪雨災害など、自然災害による甚大な被害が懸念されていることに加え、これまでの新型コロナウイルス感染症対応を踏まえ、新たな感染症危機など、次の脅威に備えるため、健康危機管理体制の一層の強化が求められている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、外部リソースの活用や感染拡大時における全庁的な職員応援体制により、保健所の体制強化を図った。また、健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、防災訓練及び研修等を実施し、職員の災害対応能力の維持・向上に努めるとともに、関係機関と平時から緊密な連携を図るため大津市健康危機管理対策協議会を開催した。あわせて、大規模災害時の医療救護活動等に必要なる災害対策用品について、感染症対応も含め、備蓄の充実強化を図っている。</p>
----------------------	---

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民、関係機関及び団体を対象に
目的(何のために)	健康危機事案の発生を未然に防止するとともに、健康危機事案が発生した場合においても、市民の生命と健康の安全確保を図ることを目的に
手段(どのようなやり方で)	関係機関が連携して対応ができる体制の整備、健康危機事案を想定した訓練の実施及び備蓄医薬品を維持管理することで
成果(どのような状態にするのか)	災害医療救護活動等を円滑に進めることにより、市民の生命と健康の安全確保を図ることができる。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		9,915	10,672	8,626	8,844	8,678	8,510	9,397
事業費		3,275	4,978	2,932	3,150	2,984	2,816	3,703
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		3,275	4,978	2,932	3,150	2,984	2,816	3,703
人件費計		6,640	5,694	5,694	5,694	5,694	5,694	5,694
事務・技術(人)		0.83	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0130
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 02380 健康危機管理体制整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-21-00	健康危機管理体制整備事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】 上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
		0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		0.00	61.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康危機から市民の生命や健康を守るための体制整備が市の責務。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	災害時の保健医療活動体制構築のための訓練、連携推進を図った。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	関係機関と連携し健康危機に対応するための体制強化を図った。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	健康危機事案発生時に即応するための体制を強化している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	大津市三師会をはじめ、関係機関との連携強化を含めた災害対応訓練を実施するとともに、新たにDMATとの連携訓練を実施した。また、災害時の実動として、継続して新型コロナウイルス感染症への対応にあたるとともに、高病原性鳥インフルエンザの市内農場発生事案に対して、保健所職員が一丸となって対応にあたった。今後、感染症対応を踏まえた、より実効性のある訓練や研修の実施により、職員の危機管理意識や対応能力向上を図る。また、あらゆる災害を想定した健康危機事案への対応体制の一層の強化に向け、関係機関と平時から情報共有を図るとともに連携体制について協議する場として大津市健康危機管理対策協議会専門部会等を定期的に開催し、緊密に連携を図っていく。なお、DMATとの連携体制を県指針等へ反映するための協議を継続するとともに、次の感染症健康危機に備え、健康危機対処計画の作成を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健康危機事案への対応能力の更なる強化に向け、三師会をはじめ関係機関との連携を密にし、新たな危機への対応を想定した健康危機管理体制の強化に努める。また、DMATとの連携体制の県指針等への反映、健康危機対処計画の作成を進める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02380 健康危機管理体制整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)健康危機対応訓練の実施回数	回	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練の実施回数						
(成果)健康危機対応訓練の参加者数	人	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	健康危機発生を想定した訓練への参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

391 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0131
 評価年度 令和 4年度
 所属 1440
 事務事業番号 02391

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所保健総務課
 健康おおつ2 1 推進事業

所属長名 大石 達也
 記入者 平田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	003	健康おおつ2 1 推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	健康増進法					
事業概要	(事業概要) 健康増進法に基づき平成25年度に策定した第2次計画を、市民や関係団体等に周知するとともに、その目標達成に向けた各種関連事業を推進していく。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 社会全体で個人の健康を支え、健康づくりに取り組める環境を整えることが求められている。また、国の健康日本21の計画期間が1年延長されたことに伴い本計画も1年延長としている。 (見直しや改善等の経過) 新型コロナウイルス感染症の拡大により中止していた、健康おおつ2 1 推進会議を会場とWEBのハイブリットにて開催した。健康おおつ2 1 応援団事業では、応援団の認知度を高めるため、市内薬局へすこやかだよりやBIWA-TEKUのアプリ紹介チラシの配布を行った。また、登録事業者がロゴマークを使用し、自ら啓発できるようにした。次期計画（第3次計画）の策定については第4次大津市食育推進計画と一体的に策定する。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係団体、民間事業者などを対象に
目的(何のために)	市民一人ひとりがともに支え合いながら希望や生きがいを持ち、ライフステージに応じて、すこやかで心豊かに生活できる健康なまちづくりを目指すため
手段(どのようなやり方で)	健康おおつ2 1（第2次計画）に基づき、市民の健康づくりのための保健事業を総合的に推進する。社会全体で市民の健康を支え、守るための環境整備に努めることで
成果(どのような状態にするのか)	市民一人ひとりが健康づくりに取組むことにより、健康寿命が延伸される。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	8,075	7,739	14,047	9,376	8,876	8,876	8,876
事業費	1,035	95	5,389	718	218	218	218
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,035	95	5,389	718	218	218	218
人件費計	7,040	7,644	8,658	8,658	8,658	8,658	8,658
事務・技術(人)	0.88	0.98	1.11	1.11	1.11	1.11	1.11
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

392 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0131
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 事務事業番号 02391 健康おおつ2 1 推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-23-00	健康おおつ2 1 推進事業費	健康保険部保健所保健総務課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)健康おおつ2 1 推進会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
		0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)健康おおつ2 1 計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		46.00	43.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康おおつ2 1 計画のもと、市は健康づくりを推進する必要がある		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	男性女性とも、健康寿命は延伸傾向である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	取組の進捗状況を推進会議にて協議しPDCAを回し実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	計画の推進により健康な市民の増加、健康寿命延伸に繋がっている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和5年度は、現計画の最終評価を行うとともに、国や県の動向を参考に、関係機関と連携しながら、健康おおつ2 1（第3次計画）・第4次大津市食育推進計画を策定する。 健康おおつ2 1 計画平均進捗率について、新型コロナウイルス感染症の影響等により伸び悩んでいることから、各事業の実施方法などの見直しを行い、改善に向けて取り組む。 健康おおつ2 1 応援団事業について、「すこやかフェスタひえい」での連携をはじめ、登録事業所との連携をさらに広げ、市民の健康寿命に関する意識啓発に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健康おおつ2 1（第2次計画）に掲げた施策を推進し、評価を行いながら、次期計画策定を進めていく。健康おおつ2 1 応援団については、イベント等を活用した啓発を開始し、登録事業所数の拡大と連携の強化を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1440 健康保険部保健所保健総務課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02391 健康おおつ 2 1 推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)健康おおつ 2 1 推進会議開催回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	指標説明	健康おおつ 2 1 推進会議開催回数						
(成果)健康おおつ 2 1 計画平均進捗率	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
	指標説明	単年度事業の進捗率の平均値						

事務事業評価シート（1/2）

394 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0132
評価年度 令和 4年度
所属 1449
事務事業番号 01905

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
医療確保対策事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 野田 由美子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	007	健康増進と地域医療の充実	
取組の方向性	002	地域医療の充実	
事務事業	004	医療確保対策事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	その他		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	医療法、大津市補助金等交付規則		

事業概要	<p>(事業概要) 地域医療機関の充実を図り、市民へ継続的に安定した医療を提供するため、拠点病院や大津市医師会、大津市歯科医師会等と連携して、①休日・夜間に重症患者を受け入れる後方医療機関の確保、②小児救急患者の受入れ体制の確保、③休日歯科診療体制の整備、④不採算医療を実施している公的病院における各事業などに対して負担金、補助金を交付している。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 新型コロナウイルス感染症の影響により一時的に救急患者数が減少したものの、再び増加に転じたことや今後の高齢化の進展及び勤務形態の多様化により、休日・夜間の救急利用へのニーズは今後拡大することが見込まれる。 (見直しや改善等の経過) 小児救急医療の体制強化の実現や協定書の締結、私的二次救急医療対策補助事業や電力・ガスエネルギー価格高騰対策支援金の創設など常に効果的な事業運営の改善に努めている。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	地域の医療機関に対し
目的(何のために)	夜間及び休日、地域に必要な医療体制（後方医療、小児救急医療、公的病院等運営、私的二次救急医療）の確保等を図るために
手段(どのようなやり方で)	事業実施に必要な負担金、補助金を交付することで
成果(どのような状態にするのか)	必要な医療提供体制を確保をする

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	125,619	150,227	128,521	137,434	126,023	126,101	125,979
事業費	113,699	138,605	115,807	124,720	113,309	113,387	113,265
国庫支出金	3,100	25,229	0	0	0	0	0
県支出金	18,200	18,173	18,210	18,173	18,173	18,173	18,173
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	92,399	95,203	97,597	106,547	95,136	95,214	95,092
人件費計	11,920	11,622	12,714	12,714	12,714	12,714	12,714
事務・技術(人)	1.49	1.49	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

395 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0132
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 01905 医療確保対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-03-00	医療確保対策事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療補助金	千円	0.00	82,374.00	82,312.00	82,637.00	82,637.00	82,637.00	82,637.00
(成果)後方医療、公的病院等、私的二次救急医療機関受入患者数	人	0.00	9,769.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00
(活動)後方医療機関確保対策補助金(R4より新指標へ)	千円	20,460.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)後方医療機関受入患者数(R4より新指標へ)	人	15,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	安心に暮らせる医療体制の構築は市として必要不可欠である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	小児医療や二次救急等は年間を通じ救急医療体制が確保されている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	輪番制や拠点病院方式により効率的な医療提供体制を確保している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	補助金の交付で安全安心な医療提供体制の構築に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	救急医療や小児医療等については、市民生活に必要な不可欠なものであることから、今後も安定した医療提供体制を構築する。また、各医療機関への助成については、国の予算措置の状況を踏まえ対応していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	救急患者の受入体制や休日夜間の医療提供体制を整備し充実するため、医療機関や天津市医師会、天津市歯科医師会と連携を図るとともに、医療機関等に対する適切な支援を行っていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01905 医療確保対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療補助金	千円	0.00	82,374.00	82,312.00	82,637.00	82,637.00	82,637.00	82,637.00
指標説明		0.00	81,893.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当該事業に係る各病院経費への補助額(指標見直し：令和3年度まで後方医療のみで評価、移行理由・補助基準の多様化、令和4年度からの当初予算化事業の追加)								
(成果) 後方医療、公的病院等、私的二次救急医療機関受入患者数	人	0.00	9,769.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00	11,400.00
指標説明		0.00	11,221.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
各補助事業の救急搬送受入患者数合計(指標見直し：令和3年度まで後方医療のみで評価、移行理由・補助基準の多様化、令和4年度からの当初予算化事業の追加)								
(活動) 後方医療機関確保対策補助金(R4より新指標へ)	千円	20,460.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		13,302.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
当該事業に係る病院経費への補助額(指標見直し：令和4年度から後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療補助金へ移行、移行理由・補助基準の多様化、令和4年度からの当初予算化事業の追加)								
(成果) 後方医療機関受入患者数(R4より新指標へ)	人	15,000.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		11,210.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
医療機関受入患者数(指標見直し：令和4年度から後方医療、公的病院等運営、私的二次救急医療機関受入患者数へ移行、移行理由・補助基準の多様化、令和4年度からの当初予算化事業の追加)								
(活動) 小児救急医療体制確保日数	日	365.00	365.00	366.00	365.00	365.00	365.00	366.00
指標説明		365.00	365.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
小児救急医療の診療日数								
(成果) 小児救急医療の受診者数	人	11,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00	7,000.00
指標説明		5,094.00	6,947.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
小児救急患者数								

事務事業評価シート（1/2）

397 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0133
評価年度 令和 4年度
所属 1449
事務事業番号 02586

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
在宅医療・介護連携事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 直美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします		
施策	004	高齢者の福祉・介護の充実		
取組の方向性	003	在宅医療の充実		
事務事業	001	在宅医療・介護連携事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	介護保険法			
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>介護保険法における地域支援事業の一つに位置付けられている。在宅医療、在宅療養の必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、在宅医療連携拠点の整備、保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して医療福祉の推進を図る。また、大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市において医療介護関係者、市民、行政が地域の課題を共有し、それに応じた取組を推進する。</p>			
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>高齢化の進展に伴う、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対応するために、地域の実情に応じた医療介護連携の推進・充実が求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>拠点訪問看護ステーションでは、医療介護連携・相談の中核として、地域の医療・介護の専門職から相談を受け、課題解決を図っている。また、地域包括支援センターでは、市民相談・啓発の中核として、少人数単位やオンライン形式など工夫しながら地域の実情に応じた市民啓発を実施している。</p>			

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で、安心して最期まで生活、療養できるようにするために
手段(どのようなやり方で)	在宅医療連携拠点の運営、在宅療養支援体制の整備、在宅療養・看取りについての普及・啓発などの「在宅医療・介護連携推進事業」を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	市民が在宅療養に対する理解を深め、安心して在宅療養を選択することができる

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	13,439	14,285	15,720	18,666	20,373	18,666	18,666
事業費	10,239	11,165	12,210	15,156	16,863	15,156	15,156
国庫支出金	3,942	4,298	4,700	5,835	6,492	5,835	5,835
県支出金	1,970	2,149	2,350	2,917	3,246	2,917	2,917
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	2,355	2,568	2,808	3,486	3,878	3,486	3,486
一般財源	1,972	2,150	2,352	2,918	3,247	2,918	2,918
人件費計	3,200	3,120	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

398 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0133
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 02586 在宅医療・介護連携事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
29-30-10-05-68-00-07-00	在宅医療・介護連携事業費	健康保険部介護保険課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	0.00	265.00	275.00	285.00	300.00	300.00	300.00
		0.00	175.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	0.00	65.00	60.00	55.00	50.00	45.00	45.00
		0.00	52.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 市民啓発活動の開催回数	回	7.00	7.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		6.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 市民啓発活動の参加者数	人	2,000.00	2,000.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
		3,641.00	7,867.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準				評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である			A
		B	ほぼ妥当である			
		C	あまり妥当ではない			
		D	妥当ではない			
		評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している			
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている			A
		B	やや上がっている			
		C	あまり上がっていない			
		D	上がっていない			
		評価理由	市民意識調査で、在宅療養に関する理解度が上がっている			
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A	効率的である			A
		B	やや効率的である			
		C	あまり効率的でない			
		D	効率的でない			
		評価理由	地域包括支援センターが、他事業と連動しながら事業実施している			
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している			A
		B	やや貢献している			
		C	あまり貢献していない			
		D	貢献していない			
		評価理由	在宅医療・介護連携事業の実施は、施策目標に貢献している			
		評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域資源を活用し、感染予防対策を講じながら、少人数単位での市民講座やラジオ媒体による啓発など取組を実施してきた。今後も市民、医療・介護関係者への相談に対応しながら、地域の実情に応じた取組の実施に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	在宅医療・介護連携を推進するため、今後も拠点訪問看護ステーションを起点とした医療介護関係者への相談支援や、在宅医、訪問看護ステーション及びケアマネジャーとのネットワーク構築に取り組みとともに、地域包括支援センターを起点とした市民啓発に取り組む。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02586 在宅医療・介護連携事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)拠点訪問看護ステーションへの相談件数	件	0.00	265.00	275.00	285.00	300.00	300.00	300.00
	指標説明	医療介護専門職からの相談対応件数						
(成果)医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合	%	0.00	65.00	60.00	55.00	50.00	45.00	45.00
	指標説明	担当ケアマネジャーが医療ニーズが高い在宅療養者の支援に対して不安と感じる割合						
(活動)市民啓発活動の開催回数	回	7.00	7.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	在宅療養・看取りに関する市民啓発講座（ブロック分）						
(成果)市民啓発活動の参加者数	人	2,000.00	2,000.00	300.00	300.00	300.00	300.00	300.00
	指標説明	R2～R4は啓発物の配布数含む。R5～は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、啓発物の配布数は除く。						
(活動)多職種合同研修会の開催回数（R4～見直し）	回	15.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	指標を見直し、R4～拠点訪問看護ステーションへの相談件数						
(成果)多職種合同研修会の参加者数（R4～見直し）	人	800.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	指標の見直し、R4～医療ニーズの高い方への支援に対するケアマネの不安割合						

事務事業評価シート（1/2）

400 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0134
評価年度 令和 4年度
所属 1449
事務事業番号 03761

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所地域医療政策課
地域医療推進事業

所属長名 荒木 浩一
記入者 高田 直美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画		
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります		
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします		
施策	007	健康増進と地域医療の充実		
取組の方向性	002	地域医療の充実		
事務事業	005	地域医療推進事業		
新規継続区分	継続			
運営方法	直営			
評価区分	対象	主な取組区分	対象	
根拠法令等	医療法、滋賀県保健医療計画			

事業概要	<p>(事業概要) 在宅医療、在宅療養の必要な患者が増加している中、住み慣れた地域で最期まで安心して生活できるよう、訪問診療・訪問看護体制の強化及び医療・介護連携推進事業、地域リハビリテーション支援体制整備事業を推進する。保健、医療、介護、福祉等の関係機関が連携を強化して地域医療の充実を図るため、各種協議の場を設置し、事業を展開している。</p>			
------	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 高齢化の進展に伴い、在宅医療、在宅療養への多様なニーズに対し、保健、医療、介護、福祉等の各サービスが包括的、継続的に提供されるために、地域の医療提供体制の整備・充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 訪問診療の体制強化に向け、病院が訪問診療を実施している医療機関をバックアップする体制を構築した。また、質の高い訪問看護サービスが安定的に供給されるよう、機能強化型訪問看護ステーションの整備を進めている。</p>			
----------------------	---	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、医療関係機関及び介護、福祉等の関係機関を対象に			
目的(何のために)	市民の誰もが住み慣れた地域で安心して最期まで生活、療養できるようにするために			
手段(どのようなやり方で)	訪問診療・訪問看護体制の強化、地域リハビリテーション支援体制の整備充実等、「おおつ保健医療プラン2019」及び「大津市ゴールドプラン」に基づく各施策を展開することで			
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養者が住み慣れた地域で安心して最期まで生活できるようにする。			

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,230	21,586	52,750	51,171	46,519	45,797	38,119
事業費	7,110	9,730	38,164	36,585	31,933	31,211	23,533
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	7,110	9,730	38,164	36,585	31,933	31,211	23,533
人件費計	11,120	11,856	14,586	14,586	14,586	14,586	14,586
事務・技術(人)	1.39	1.52	1.87	1.87	1.87	1.87	1.87
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0134
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1449 健康保険部保健所地域医療政策課
 事務事業番号 03761 地域医療推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-40-00-02-00	地域医療推進事業費	健康保険部保健所地域医療政策課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問看護ステーション事業所の補助申請受付件数	件	0.00	1.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
(成果)機能強化型訪問看護ステーションの数	件	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)地域リハビリテーション関係研修会開催数	回	0.00	3.00	3.00	3.00	3.00	4.00	5.00
(成果)地域リハビリテーション関係研修会参加施設、事業所数	施設	0.00	3.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00	6.00
		6.00	5.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00	145.00
		138.00	99.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	高齢者福祉計画・介護保険事業計画等に基づき本市が実施している		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	在宅医療の提供体制の強化に繋がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	在宅医療関係者の確保と質が向上している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	在宅医療の体制強化は地域医療の充実に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
所属コメント (400文字)	訪問診療の体制強化として、訪問診療を実施している医療機関をバックアップする体制を3つの病院で整備することができた。また、質の高い訪問看護サービスを安定的に供給できる機能強化型訪問看護ステーションを3か所整備し、連携強化に努めている。今後の医療需要に備え、令和5年度から訪問看護拡充事業を創設し、更なる体制整備を進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	拡大
部局コメント (400文字)	住み慣れた地域で安心して在宅療養できる支援体制を構築するため、これまで訪問看護の体制強化や令和3年度からは訪問診療の体制強化（病院によるバックアップ体制の構築）を実施してきた。今後の超高齢社会の進展による訪問診療の需要増加に対応できるよう、更なる訪問看護の体制強化に取り組んでいく。		

事務事業評価シート（1/2）

403 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0135
 評価年度 令和 4年度
 所属 1441
 事務事業番号 00500

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所衛生課
 生活衛生啓発事業

所属長名 丸山 政良
 記入者 池永 康子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	002	生活衛生啓発事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	旅館業法、公衆浴場法 理容師法、美容師法、水道法、建築物における衛生的環境の確保に関する法律等					
事業概要	生活衛生関係営業施設の管理者や市民を対象とした講習会の開催及び啓発資料（リーフレット等）の作成・配布など、啓発事業を実施することにより、当該衛生営業施設の衛生確保を図るとともに、事業者や市民等の衛生意識の向上を図り、より衛生的で快適な市民生活を確保する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	（事業を取りまく社会環境） 市民の生活様式の多様化に伴い、生活衛生関係営業施設はより高い衛生意識が求められている。また、様々な感染症に対する意識の高まりにより、事業者及び個人からの問い合わせが増加する傾向にある。 （見直しや改善等の経過） 令和4年度は公衆浴場及び旅館事業者を対象に、オンデマンド方式によりレジオネラ症発生防止講習会を開催した。また、感染症防止や熱中症防止の観点から、建築物における衛生的環境の確保に関する法律における空気環境の調整に関する基準等について、リーフレット等を活用し啓発を行った。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	旅館、公衆浴場、理容所、美容所、クリーニング所、特定建築物、遊泳用プール等の生活衛生関係営業施設及び市民を対象に
目的(何のために)	衛生意識の向上を図り、衛生的で快適な市民生活を確保するために
手段(どのようなやり方で)	講習会の開催や講師の派遣、啓発資料（リーフレット等）の配布等による啓発事業を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	生活衛生関係営業施設及び市民の衛生意識が向上し、消費者が安心して施設を利用できる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	2,051	4,302	4,038	4,081	4,081	4,081	4,081
事業費	51	92	138	181	181	181	181
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	51	92	138	181	181	181	181
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	2,000	4,210	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
事務・技術(人)	0.25	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

404 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0135
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00500 生活衛生啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-10-00-10-00	生活衛生啓発事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)講習会、研修会の開催等件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
		1.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)講習会等の衛生啓発事業への参加者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		200.00	200.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	監視指導に加え啓発事業を実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	監視指導に併せた様々な手法の啓発により成果はやや上がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	監視指導と啓発を行うことで相乗効果が期待でき効率的である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	自主衛生管理の意識の向上につながり、目標達成に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	生活衛生関係営業施設の衛生確保のための事業者への啓発は、利用者の安全・安心の確保を図るうえで重要な事業であるため、対象事業者等の規模を拡大しながら今後も継続して実施していく。また、集合形式による講習会にとらわれず、監視指導と並行して行うこと等により、効果が増大する手法の啓発活動を検討し、実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活衛生関係営業施設に対する啓発事業の積極的な実施とともに、イベント、ホームページ等を活用した効果的な啓発活動を実施し、市民・事業者の衛生意識の向上を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00500 生活衛生啓発事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 講習会、研修会 の開催等件数	件	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00	5.00
	指標説明	本市が実施する講習会等の開催回数及び事業者が開催する研修会、勉強会への講師派遣件数						
(成果) 講習会等の衛生 啓発事業への参加者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
	指標説明	講習会、研修会及び勉強会等の衛生啓発事業への参加者数						

事務事業評価シート（1/2）

406 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0136
評価年度 令和 4年度
所属 1441
事務事業番号 00502

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所衛生課
食品衛生啓発事業

所属長名 丸山 政良
記入者 井上 聡美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	003	食品の安全性の確保				
事務事業	002	食品衛生啓発事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品安全基本法、食品衛生法					
事業概要	食品に起因する事故や食中毒の発生を防止するため、市民、大学、関係団体等と連携を図りながら、食中毒予防啓発や衛生講習会等を開催するとともに、食の安全に関する意識の向上を図るための広報事業を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 様々な情報が氾濫する現代社会において、市民・事業者に対して、食の安全に関する正しい情報の提供が不可欠である。</p> <p>(見直しや改善等の経過) 継続的に大学や関係団体等との連携強化に努めるとともに、啓発対象の見直しや市民の地域活動と既存の情報媒体を活用し、事業の強化と効率性の向上に努めている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、食品関係事業者、関係団体等に対し
目的(何のために)	食の安全や食中毒予防に関する知識の普及啓発や意識の向上を図り、飲食に起因する衛生上の危害を防止するため
手段(どのようなやり方で)	食品衛生講習会等の開催、広報誌、ホームページ、メール及びファックス等による食の安全・安心に係る情報の提供を行い
成果(どのような状態にするのか)	市民や関係者が食の安全に関する正しい知識を得て、自らの判断で飲食による危害を排除し、衛生的な食生活を送ることができるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,571	10,930	11,076	11,076	11,076	11,076	11,076
事業費	771	790	936	936	936	936	936
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	771	790	936	936	936	936	936
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	8,800	10,140	10,140	10,140	10,140	10,140	10,140
事務・技術(人)	1.10	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

407 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0136
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00502 食品衛生啓発事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-10-00	食品衛生啓発事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)食の安全安心情報の提供回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
		18.00	23.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)子ども衛生習慣定着事業への参加者数	人	1,700.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,375.00	2,100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)食の安全安心情報の配信件数	件	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00
		1,527.00	1,500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)子ども衛生習慣定着事業参加者等の事業評価平均ポイント	ポイント	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
		9.50	9.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	食品衛生法第2条に基づき実施する事業であり妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	チラシ、動画、SNS等を活用した啓発により成果は上がっている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	コロナ禍に事業手法を一部見直し、効率的な啓発ができています		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民が健康な生活を送るための重要な事業であり、貢献できている		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	より効果的な事業を展開するために市民・食品関係事業者・大学等教育機関・関係課の互いの特性を活かしなが ら連携をさらに強化していく。また、対面だけでなくSNSや動画配信といったオンラインツールの活用や、家 庭や教育現場で使える教材の貸出や配布での啓発・情報提供も併用することにより、効率的に食に関する衛生意 識の向上を図る。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民、関係機関、団体等と連携・協力をしながら、効率的に衛生習慣の定着を図るとともに、市民ニーズに即し た情報を適切な手法、タイミングで提供し、公衆衛生の更なる向上に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00502 食品衛生啓発事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)食の安全安心情報の提供回数	回	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
	指標説明	メール、ファックス等を活用した情報の提供回数						
(活動)子ども衛生習慣定着事業への参加者数	人	1,700.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	子ども衛生習慣定着事業（手洗い教室、手洗い指導者講習）への参加人数						
(成果)食の安全安心情報の配信件数	件	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00	1,650.00
	指標説明	メール、ファックス配信サービス（食品衛生情報）の登録件数とTwitterフォロワー数の合計						
(成果)子ども衛生習慣定着事業参加者等の事業評価平均ポイント	ポイント	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	指標説明	不要2 P、要改善4 P、必要6 P、効果8 P、特に効果10 Pとして実施後に評価を求め平均する。						

事務事業評価シート（1/2）

409 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0137
 評価年度 令和 4年度
 所属 1441
 事務事業番号 00503

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所衛生課
 食品衛生自主管理推進事業

所属長名 丸山 政良
 記入者 中川 静

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	003	食品の安全性の確保				
事務事業	003	食品衛生自主管理推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	食品衛生法、食品安全基本法					
事業概要	食品等事業者の自主衛生管理を推進するため、講習会の開催、動画配信等を行うとともに、滋賀県食品衛生協会に対して食品関係営業施設への巡回活動を委託し事業者への自主衛生管理意識の定着を図る。 また、食品等事業者への衛生水準の意識向上を図るため、食品衛生功労者及び食品衛生優良施設に対する表彰を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 食品衛生法により、原則として、すべての食品等事業者に「HACCPに沿った衛生管理の実施」が義務付けられ、異物混入や食中毒の防止など食品の安全性の向上が求められている。 (見直しや改善等の経過) 「HACCPに沿った衛生管理」について、制度の普及を図るため、講習会の開催や動画配信を行うとともに、食品衛生推進員と連携した導入指導を継続して行っていく。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	食品等事業者、従事者及びその関係団体等を対象に
目的(何のために)	食品等事業者自らが衛生管理を推進して、食品衛生水準の向上が図られるために
手段(どのようなやり方で)	講習会、動画配信、食品衛生推進員による関係営業施設への巡回活動の委託及び優良施設等の市長表彰を行うことにより
成果(どのような状態にするのか)	食品等事業者は、自らが食品の安全確保に関して第一義的責任を有していることの認識を持ち、食品安全に係る自主的な衛生措置を講じるようになる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,572	9,970	10,780	10,802	10,802	10,802	10,802
事業費	972	1,390	1,420	1,442	1,442	1,442	1,442
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	972	1,390	1,420	1,442	1,442	1,442	1,442
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	13,600	8,580	9,360	9,360	9,360	9,360	9,360
事務・技術(人)	1.70	1.10	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

410 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0137
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00503 食品衛生自主管理推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-15-00-15-00	食品衛生自主管理推進事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00	15.00
		6.00	8.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00	600.00
		594.00	613.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 高度自主衛生管理実施施設数	施設	21.00	22.00	23.00	24.00	25.00	26.00	27.00
		21.00	21.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	食品衛生法等に基づき、市が実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	オンライン研修等を開催し、受講者数が増加した		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	食品衛生協会との連携により効率化を図っている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	食品関係施設の衛生確保、食品の安全確保につながり貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	従来より高度な自主衛生管理に取り組む施設が、新たに「大津市HACCP適合証明」を取得する等、食品等事業者の衛生管理意識の向上が確認できた。食品等事業者自らが衛生管理を推進していくために、食品衛生推進員と保健所が協働し、義務化された「HACCPに沿った衛生管理」の導入指導を引き続き行っていく。その活動に際し、食品等事業者に対する的確な情報提供や指導助言等を行う必要があることから、食品衛生推進員に対する講習並びに食品衛生担当職員の知識技術の向上に努めていき、その手段として、集合型研修に加え、動画配信、リモート講習会等の効率的な形式を取り入れ、実効性の向上を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市内の食品事業者が法を遵守し、制度化された衛生管理を実施できるよう、周知し、関係団体と連携しながら、効率的・効果的に事業推進を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00503 食品衛生自主管理推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 営業者対象自主衛生管理講習会実施回数	回	15.00 6.00	15.00 8.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00	15.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の実施回数						
(成果) 営業者対象自主衛生管理講習会受講者数	人	600.00 594.00	600.00 613.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00	600.00 0.00
	指標説明	食品等事業者に対する自主衛生管理講習会の受講者数						
(成果) 高度自主衛生管理実施施設数	施設	21.00 21.00	22.00 21.00	23.00 0.00	24.00 0.00	25.00 0.00	26.00 0.00	27.00 0.00
	指標説明	H A C C P 適合証明制度等の高度な自主衛生管理に取り組んでいる施設						

事務事業評価シート（1/2）

412 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0138
評価年度 令和 4年度
所属 1441
事務事業番号 00505

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所衛生課
衛生検査事業

所属長名 丸山 政良
記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	002	衛生検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	食品衛生法、公衆浴場法、感染症法、医薬品医療機器法、有害家庭用品規制法等					
事業概要	食品衛生法等に基づく成分規格等の基準適否判断のための検査、食中毒や感染症の原因究明と感染拡大防止のための検査及び浴場水、医薬品等の検査を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 食中毒予防等に係る食品衛生や残留農薬、食品添加物及び放射性物質等に係る食品の安全性についての市民の関心は高く、正確かつ迅速な検査の実施が求められている。 (見直しや改善等の経過) 法改正による規格基準の改正等に迅速に対応するため、標準作業書の策定又は改定による検査体制の整備、また、精度管理の充実に係る等検査体制の一層の強化を行っている。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	収去食品等を
目的(何のために)	市内で製造又は販売される食品等について食中毒の発生防止と不良食品の流通防止を図り、食中毒及び感染症の原因を究明しその拡大を防止するため、
手段(どのようなやり方で)	残留農薬等の理化学検査及び病原性微生物等の微生物検査を標準作業書等に基づき適正かつ迅速に実施し、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性の高い検査結果を報告することで、衛生確保の推進に寄与する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,359	47,461	47,312	47,468	47,468	47,468	47,468
事業費	11,144	11,126	11,133	11,133	11,133	11,133	11,133
国庫支出金	9	8	12	9	9	9	9
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	11,135	11,118	11,121	11,124	11,124	11,124	11,124
人件費計	37,215	36,335	36,179	36,335	36,335	36,335	36,335
事務・技術(人)	4.40	4.40	4.38	4.40	4.40	4.40	4.40
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65	0.65
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

413 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0138
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00505 衛生検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-10-00	衛生検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)衛生課試験検査室における食品等検査標準作業書数	件	152.00	150.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00
(成果)食品等の検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	関係法令に基づく検査のため妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	正確かつ迅速な検査の実施は、不良食品の流通防止等に有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	「市食品衛生監視指導計画」に基づき効率的に検査を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	正確迅速な検査は市民の食の安全・安心の確保に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	不良食品の流通防止、食中毒等健康被害の発生、拡大防止及び原因究明を図るため、食品衛生法に基づく正確かつ迅速な検査体制を維持継続する。また、実技研修への参加等を進めることで法令等改正に対応できるように最新の知識と技術の習得に努め、検査担当職員の人材育成をはかる。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	関係法令改正に対応できるよう、最新の検査技術の導入を図るとともに、検査担当職員のキャリアに合わせた実技研修の参加等を積極的に進めることにより、検査事業の充実を図る。また、新たな検査項目への対応や精度管理の充実によって、検査事業を社会ニーズに応えるものとする。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00505 衛生検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)衛生課試験検査室における食品等検査標準作業書数	件	152.00	150.00	153.00	153.00	153.00	153.00	153.00
	指標説明	試験検査室における業務管理要領に基づく標準作業書の作成						
(成果)食品等の検査標準作業書等に基づく検査実施率	率 (%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	食品等の検査において標準作業書等に基づき実施した検査数の割合						

事務事業評価シート（1/2）

415 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0139
 評価年度 令和 4年度
 所属 1441
 事務事業番号 00506

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所衛生課
 環境検査事業

所属長名 丸山 政良
 記入者 竹田 恵美

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	001	健康危機管理対策の推進				
事務事業	003	環境検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	水質汚濁防止法、琵琶湖再生法、大津市環境基本条例等					
事業概要	水質汚濁防止法、琵琶湖再生法、大津市環境基本条例等に基づき工場、事業場（発生源）からの排水等の調査、河川等の公共用水域の水質調査等に係る検査を実施する。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 琵琶湖が身近にあり、市民の水環境への関心は非常に高く水質検査のニーズは高い。琵琶湖流入河川の水質監視についてもこれまで以上の充実が求められている。 (見直しや改善等の経過) 排水基準の改正等に迅速に対応するため、環境行政部門との連携を推進し、精度管理の充実を図ることで、検査体制の強化を行う。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	環境及び発生源の水質等を、
目的(何のために)	市民の生活環境の保全のため、
手段(どのようなやり方で)	関係法令に基づき正確かつ迅速に標準作業書等に従って検査を行い、
成果(どのような状態にするのか)	信頼性のある精度の高い検査を行うことで、環境施策の推進に寄与する。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,153	14,810	14,656	14,812	14,812	14,812	14,812
事業費	1,393	1,394	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,393	1,394	1,396	1,396	1,396	1,396	1,396
人件費計	13,760	13,416	13,260	13,416	13,416	13,416	13,416
事務・技術(人)	1.72	1.72	1.70	1.72	1.72	1.72	1.72
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

416 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0139
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00506 環境検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-35-20-00-15-00	環境検査事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)衛生課試験検査室における環境検査標準作業書数	件	63.00	63.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00
(成果)環境検査標準作業書等に基づく検査実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	排水基準の適否確認等を行う根拠となる検査のため妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	精度の高い検査は環境施策の推進に寄与することから有効である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	事業場排水調査計画等に基づき効率的に検査を実施している		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	高精度な検査は生活環境保全の措置等の根拠となり貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	環境に対する市民の意識は高く、環境検査の必要性は高い。また、法令の改正等による基準項目の追加や見直しも随時あることから、検査手法の改正が見込まれる検査法にも対応できるように関係機関との連携及び実技研修等への参加によって最新の知識、技術の習得及び検査法の導入を積極的に進める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の環境問題に対する関心や要望が高まる中、良好な生活環境を確保するため、実技研修に参加する等、最新の知識と技術の習得に努め、信頼性のある精度の高い検査を迅速に実施する体制の整備を進める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00506 環境検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)衛生課試験検査室における環境検査標準作業書数	件	63.00	63.00	64.00	64.00	64.00	64.00	64.00
指標説明		63.00	64.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
試験検査室における業務管理要領に基づく標準作業書の作成								
(成果)環境検査標準作業書等に基づく検査実施率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
指標説明		100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
環境検査において標準作業書等に基づき実施した検査数の割合								

事務事業評価シート（1/2）

418 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0140
 評価年度 令和 4年度
 所属 1441
 事務事業番号 00514

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健衛生課
 食環境整備事業

所属長名 丸山 政良
 記入者 徳田 淳子、福本 真子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	003	食育の推進				
事務事業	001	食環境整備事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	健康増進法、食育基本法					
事業概要	健康増進法に基づく国民健康栄養調査、特定給食施設管理等を実施する。また、食育基本法及び大津市食育推進計画に基づき、食育の概念や重要性を市民に浸透させるため、関係機関・団体等や庁内関係課等とネットワークを構築しながら食育の推進を図る。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業をとりまく社会環境) 社会経済情勢の変化に伴い多種・多様な生活環境の中で、食環境や食習慣の変化により、栄養の偏りや食習慣の乱れに起因する肥満や生活習慣病、やせ・低栄養など様々な問題が生じている。 (見直しや改善等の経過) 健康で心豊かな暮らしを実現するため、食育では関係課及び地域、関係機関・団体等との連携、協力を図りながら啓発に取り組んでいる。また、特定給食施設等への栄養管理指導においては、利用者に応じた食事計画の作成と評価の実施状況を確認したうえで、必要な改善事項について重点的に指導を行っている。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、関係給食施設の利用者及び事業者に対して
目的(何のために)	市民の総合的な健康づくりに向け、栄養の改善や健全な食生活の実践を図るために
手段(どのようなやり方で)	特定給食施設等への巡回指導及び個別栄養相談等を実施し、また関係機関等と連携を図り、食育関連事業や市民への啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	市民が生涯にわたって、健康の増進が図れる。また、市民一人ひとりが「食」について自ら考え、判断する力を身につけ、心身ともに健康な生活を実践できるようになる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	15,404	14,778	25,324	25,758	23,778	23,778	23,778
事業費	1,004	738	3,484	3,918	1,938	1,938	1,938
国庫支出金	53	432	2,886	3,111	1,133	1,133	1,133
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	77	90	97	101	101	101	101
一般財源	874	216	501	706	704	704	704
人件費計	14,400	14,040	21,840	21,840	21,840	21,840	21,840
事務・技術(人)	1.80	1.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

419 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0140
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 事務事業番号 00514 食環境整備事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-37-00-20-00	食環境整備事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)食育関連事業数	事業	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00
		319.00	324.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)給食施設への個別巡回指導及び集団指導実施件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		26.00	196.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)朝食を摂食する人割合	率 (%)	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		89.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)適正な栄養管理を実施している施設数	施設	165.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		165.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康増進法、食育基本法に基づき、市が実施することは妥当である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新規に親子食育教室等を開始しより多くの市民に食育啓発ができた		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	感染症拡大防止策を行った上で活動を実施した		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民の栄養状態の改善、健康増進に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	食育については、食育に係るさまざまな関係者が互いに連携、協力できるネットワークの中で特に朝食欠食率の高い若い世代へのアプローチの強化を図りながら、引き続き効率的な事業実施に取り組む。また、特定給食施設等については健康増進法に基づき、良好な栄養管理、衛生管理を実施するように指導を継続していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健康増進法及び食育基本法に基づく事業を適切に実施するため、関係課・関係機関及び団体等とより一層連携を強化しながら、多様な取組を推進し、市民の健康の保持増進に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1441 健康保険部保健所衛生課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00514 食環境整備事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)食育関連事業数	事業	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00	530.00
		319.00	324.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	市や関係団体が実施した食育関連事業の実施件数						
(活動)給食施設への個別巡回指導及び集団指導実施件数	件	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00	150.00
		26.00	196.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	特定（多数）給食施設を対象とした個別及び集団指導の実施件数						
(成果)朝食を摂食する人割合	率（％）	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00	95.00
		89.00	89.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	子ども、若い世代を中心とした調査結果						
(成果)適正な栄養管理を実施している施設数	施設	165.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00	170.00
		165.00	172.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	栄養表示等を行っている給食施設数（給食施設調査結果）						

事務事業評価シート（1/2）

421 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0141
評価年度 令和 4年度
所属 1442
事務事業番号 00496

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
動物愛護管理事業

所属長名 中村 仁志
記入者 水田 晋介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	001	動物愛護管理事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	動物の愛護及び管理に関する法律・滋賀県動物保護管理条例					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>法及び条例に基づき、動物が命あるものであることを基本に、動物について関心と理解を深め、動物を適正に取り扱い、飼育管理することにより人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現に向けて、犬猫の飼い方指導や相談、飼えなくなった犬猫の引き取りや飼い主不明の犬猫の保護とそれらの譲渡などを行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>収容される犬の返還率は高水準であり、収容前に所有者が判明する事例も増加傾向であるものの、犬の鳴き声や野良猫への餌やり、多頭飼育に関する苦情相談は依然としてセンターに寄せられている。</p> <p>なお、改正動物愛護管理法の施行により、令和4年6月1日から犬・猫へのマイクロチップの装着が原則として義務付けられている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>全体として苦情相談件数は減少傾向だが、飼育放棄相談やその他犬猫により生じる生活環境被害に関する苦情は一定寄せられており、適正飼養等に関する普及啓発を継続することで、人と動物が共生する社会を目指す。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	犬猫の飼い主もしくはこれから犬猫を飼おうと考えている人に
目的(何のために)	人と動物が共生できる調和の取れた社会の実現のため
手段(どのようなやり方で)	犬猫を適正に、また終生飼育することを学んでいただくための講習会等を開催し、飼い主等の意識を高めること
成果(どのような状態にするのか)	犬猫の返還・譲渡率を向上させる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,042	14,029	13,697	14,471	14,687	14,687	14,687
事業費	2,472	2,699	3,357	4,131	4,347	4,347	4,347
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,046	525	523	523	523	523	523
一般財源	1,426	2,174	2,834	3,608	3,824	3,824	3,824
人件費計	11,570	11,330	10,340	10,340	10,340	10,340	10,340
事務・技術(人)	1.00	1.00	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)	0.40	0.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
会計年度任用(人)	0.30	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

422 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0141
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 00496 動物愛護管理事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-01-00	動物愛護管理事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】		上段：目標値 下段：実績値						
指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 飼い方講習会等の参加者数	人	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00	390.00
		378.00	246.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 返還・譲渡率（犬）	%	86.00	88.00	89.00	90.00	91.00	92.00	92.00
		96.00	97.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】		評価項目		評価の観点		基準		評価	
1	妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A	妥当である	動物愛護管理法で規定されている。	A	A	A	
	B		ほぼ妥当である						
C	あまり妥当ではない								
D	妥当ではない								
	評価理由								
2	有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A	上がっている	返還・譲渡率は97%と高い水準である。	A	A	A	
	B		やや上がっている						
C	あまり上がっていない								
D	上がっていない								
	評価理由								
3	効率性	事業手法は効率的であるか	A	効率的である	ペットのつどい等を実施することにより、適正飼養啓発ができた。	A	A	A	
	B		やや効率的である						
C	あまり効率的でない								
D	効率的でない								
	評価理由								
4	施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A	貢献している	人と動物が共生する社会の実現に貢献できている。	A	A	A	
	B		やや貢献している						
C	あまり貢献していない								
D	貢献していない								
	評価理由								
	評価理由								

【所属評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	飼い方講習会等の主催事業を通じ、適正飼養の周知啓発を行うとともに、市民の動物愛護精神の醸成・涵養を図ることで、人と動物が共生する社会づくりに資するため、引き続き着実に事業を推進していく。又、多頭飼育問題については、関係者、関係機関と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

【部局評価結果】			
総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	犬猫の返還・譲渡率は、増加傾向であるが引き続き事業を継続し、犬猫の致死処分ゼロを目指す。又、多頭飼育問題については、関係者、関係機関と連携を図りながら必要な対応をしていく。		

事務事業評価シート（1/2）

424 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0142
 評価年度 令和 4年度
 所属 1442
 事務事業番号 00497

進捗区分 評価完了
 健康保険部保健所動物愛護センター
 狂犬病予防事業

所属長名 中村 仁志
 記入者 山川 和久

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	002	狂犬病予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	狂犬病予防法・大津市狂犬病予防法施行細則				
事業概要	(事業概要) 平成12年度より、市の事業として狂犬病の発生予防、まん延防止及び撲滅のために、犬の登録や狂犬病予防注射事務を実施している。4、5月の集合注射実施や県内の動物病院でも登録と予防注射ができるよう滋賀県獣医師会に委託している。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 狂犬病予防法により、日本では犬からの狂犬病は50年以上発生していないが、海外から不正に上陸する犬や野生動物での発生の危険性はあるため、引き続き本事業を推進していく必要がある。 (見直しや改善等の経過) 集合注射案内ハガキ、注射履歴未確認犬への確認ハガキの送付及び高齢犬の状況確認により、登録内容の精度が図れている。また、犬の繁殖販売業者への指導を行っている。				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	大津市内で飼養されている犬の飼い主に
目的(何のために)	狂犬病の発生予防とまん延防止を図るため
手段(どのようなやり方で)	狂犬病予防集合注射の実施や、一部事務を滋賀県獣医師会へ委託し、県内の動物病院で年間を通じて注射と登録を実施するとともに、犬の登録・予防注射の周知、啓発を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	犬の登録や予防注射接種率を向上させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	21,592	20,635	19,408	20,948	19,738	19,738	19,738
事業費	7,190	6,463	7,206	8,746	7,536	7,536	7,536
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	7,190	6,463	7,206	8,746	7,536	7,536	7,536
一般財源	0	0	0	0	0	0	0
人件費計	14,402	14,172	12,202	12,202	12,202	12,202	12,202
事務・技術(人)	0.40	0.40	0.70	0.70	0.70	0.70	0.70
技能労務(人)	1.50	1.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.90	0.90	0.90	0.90	0.90
会計年度任用(人)	0.42	0.42	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

425 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0142
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-16-00-01-00	狂犬病予防事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
		5,236.00	5,619.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		80.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	狂犬病予防法の基づく犬の登録等は市町村が行う事務である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	流行を防ぐとされる70%は超えている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	委託で効率よく実施しているが、更なる効率化を目指す。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	日本では犬からの狂犬病の発生はなく、施策に貢献している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	集合注射会場での接種頭数は減少し、動物病院での注射頭数は増加していることから、集合注射会場の統廃合や実施時間を継続的に見直し効率化を目指す。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	限られた時間、人員を有効に活用し事業を実施するため、これまでの実績を踏まえつつ注射会場の選定や実施時間の設定等を見直し、より効率的な事業展開を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00497 狂犬病予防事業

上段: 目標値 下段: 実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 狂犬病予防注射 督促ハガキ送付枚数	枚	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00	5,200.00
	指標説明	10月末までに注射未実施の飼い主への督促ハガキ送付枚数						
(成果) 狂犬病予防注射 接種率	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	80.00	79.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

事務事業評価シート（1/2）

427 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0143
評価年度 令和 4年度
所属 1442
事務事業番号 02212

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所動物愛護センター
地域猫活動支援事業

所属長名 中村 仁志
記入者 井上 麻衣子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	003	安心、快適に住み続けることのできる活力のあるまちを創ります				
基本政策	010	コンパクトで質の高い持続可能なまちにします				
施策	027	住環境の整備				
取組の方向性	003	動物愛護の推進				
事務事業	003	地域猫活動支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	大津市地域猫活動支援事業実施要綱				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>飼い主の不明な猫、いわゆる野良猫に起因する排泄物等の被害が地域の環境問題となっていることから、地域住民グループが主体となってその猫を適正に管理する地域猫活動に対し動物愛護センターが不妊手術を施す等の支援を行い、一代限りの寿命を全うさせてその数を減らしていくもの。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>猫は登録やけい留義務がなく、所有者のいない猫を捕獲できる根拠もないため、地域の屋外にいる猫に関する諸問題がある。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>毎年活動グループに対しアンケートを実施しており、結果について取りまとめホームページで公開し、現状を周知し啓発している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市内にいる飼い主の不明な猫を適正に管理する地域住民グループに
目的(何のために)	飼い主の不明な猫による排泄物等の被害に対する苦情、相談及びそういった猫が産んだ子猫の引き取り依頼に対処するため
手段(どのようなやり方で)	管理する猫をセンターに持ち込んでもらい、センターが不妊手術を施した後、地域に返し管理してもらい、その猫の一代限りの寿命を全うさせることで
成果(どのような状態にするのか)	飼い主の不明な猫の減少及びそれらによる被害の減少、またそれらの産んだ子猫の引き取り数を減少させる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	7,943	7,706	6,492	6,492	6,419	6,419	6,419
事業費	223	166	252	252	179	179	179
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	223	166	252	252	179	179	179
人件費計	7,720	7,540	6,240	6,240	6,240	6,240	6,240
事務・技術(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
技能労務(人)	0.20	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

428 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0143
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 事務事業番号 02212 地域猫活動支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-78-00-02-00	地域猫活動支援事業費	健康保険部保健所衛生課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 地域猫活動支援事業取組数 (累計)	件	62.00	66.00	67.00	67.00	68.00	68.00	68.00
		65.00	74.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 子猫の引取り数	頭	50.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
		34.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	飼い主のいない猫による糞尿等に関する苦情相談はセンター開設当初から比べると大きく減少している。また、それらの猫が産んだと思われる子猫の引取り数も大きく減少している。活動グループへのアンケートでも、『猫が減った。』『猫がいなくなった。』など良好な回答が目立つことから、今後も継続して事業を実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	地域猫活動により、子猫の引取り数が減少するなど、本事業の成果が着実に表れてきているものと考えられる。このことから、今後も引き続き市民への普及啓発に努め、事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1442 健康保険部保健所動物愛護センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02212 地域猫活動支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)地域猫活動支援事業取組数（累計）	件	62.00	66.00	67.00	67.00	68.00	68.00	68.00
	指標説明	支援事業への取組件数						
(成果)子猫の引取り数	頭	50.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	指標説明	子猫（飼育放棄を除く）の引取り数						

事務事業評価シート（1/2）

430 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0144
評価年度 令和 4年度
所属 1443
事務事業番号 00459

進捗区分 部局評価
健康保険部保健所保健予防課
精神保健福祉事業

所属長名 松浦 康之
記入者 大下 彩子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画	
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります	
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします	
施策	007	健康増進と地域医療の充実	
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進	
事務事業	006	精神保健福祉事業	
新規継続区分	継続		
運営方法	直営		
評価区分	対象	主な取組区分	対象
根拠法令等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 自殺対策基本法		

事業概要	<p>(事業概要) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づき、精神障害者の早期治療の促進並びに精神障害者の社会参加の促進を図るとともに、市民の精神的健康の保持増進を図るための諸活動や精神障害者への理解を促す為の啓発活動等を行う。 具体的には、精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族交流会、家族会等の団体支援、自殺対策等を実施する。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 精神障害者が地域で安心して生活できるように地域包括ケアシステムの構築が求められている。また、ひきこもり対策や依存症対策においては、地域の支援体制づくりや医療の整備が必要である。 (見直しや改善等の経過) 自殺対策計画に基づき全庁的に自殺対策に取り組んでいる。令和4年度より精神障害者が地域で安定した生活が送れるように早期介入・支援事業を開始した。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	精神障害者や精神的健康に課題を抱える者及び家族ならびに市民が
目的(何のために)	安定した社会生活を送ることができるために
手段(どのようなやり方で)	精神保健福祉相談と緊急対応も含めた個別支援、早期介入支援、ケース検討会、家族支援、従事者研修会、自殺対策（大津市自殺対策連絡協議会、研修会や啓発活動等）等を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	精神障害者及びその家族が適切な受診行動やサービス利用をすることにより、地域で安心して暮らせるようになる。また、市民が精神障害やこころの健康課題に関心を持ち理解することができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	43,076	49,470	59,260	59,861	59,861	62,361	59,861
事業費	3,121	2,818	3,393	3,994	3,994	6,494	3,994
国庫支出金	0	197	195	496	496	496	496
県支出金	3,121	96	271	271	271	1,521	271
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	0	2,525	2,927	3,227	3,227	4,477	3,227
人件費計	39,955	46,652	55,867	55,867	55,867	55,867	55,867
事務・技術(人)	4.20	4.28	5.68	5.68	5.68	5.68	5.68
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.05	4.28	3.73	3.73	3.73	3.73	3.73
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0144
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00459 精神保健福祉事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-70-00-01-00	精神保健福祉事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
		311.00	311.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	1,900.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
		2,228.00	3,076.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
		8,621.00	8,702.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
		25.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	精神保健福祉法に基づき保健所が実施する内容である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	目標を上回る相談件数や参加者数がある		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	相談、検討会、家族交流会、研修会等を計画的に実施できている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	精神障害者の健康増進に寄与している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	市民や支援者に対しては、精神疾患に対する理解を深めてもらうため、啓発に努めるとともに、個別相談、家族交流会、研修会等を行う。また、自殺対策計画を基に自殺未遂者支援等をすすめるとともに、同意が得られた措置入院患者に対しては支援計画を策定し支援する。さらに、未受診や受診中断者等を対象に精神保健福祉に関する早期介入・支援事業を実施し、地域の一員として安心して自分らしく暮らせるように支援する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	医療機関をはじめ、相談支援事業所や居宅介護支援事業所等の福祉関係機関、庁内関係各課との連携を密に図り、精神保健福祉事業の取組を推進する。自殺対策計画の着実な推進を図るとともに、令和4年度から開始した早期介入支援を継続する。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00459 精神保健福祉事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)精神保健福祉相談等実施回数	回	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00	310.00
	指標説明	311.00	311.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		精神保健福祉相談と個別支援、各教室、出前講座、研修会、自殺対策事業等の実施回数						
(活動)いのちをつなぐ相談員派遣事業支援件数	件	1,900.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
	指標説明	2,228.00	3,076.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		未遂者に対する個別支援、関係機関との連携やケース会議回数						
(成果)精神保健福祉相談等延べ参加者数	人	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00	8,000.00
	指標説明	8,621.00	8,702.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		精神保健福祉相談と個別支援等上記事業等の参加者						
(成果)いのちをつなぐ相談員派遣事業新規対象件数	件	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00	20.00
	指標説明	25.00	29.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		いのちをつなぐ相談員派遣事業の新規対象者の人数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0145
 評価年度 令和 4年度
 所属 1443
 事務事業番号 00460

進捗区分 部局評価
 健康保険部保健所保健予防課
 難病患者地域支援対策推進事業

所属長名 松浦 康之
 記入者 大下 彩子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	004	難病患者地域支援対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	難病医療法・難病特別対策推進事業実施要綱				
事業概要	<p>(事業概要) 難病は治療が確立しておらず長期療養が必要。特に神経難病は、四肢麻痺や呼吸機能の低下により人工呼吸器の装着など重症化する事例が多い。そのため状態に応じた支援の提供ができるよう在宅療養支援従事者の資質向上を目的とした、従事者研修会等の実施とともに支援関係機関との難病対策地域協議会等の開催により、支援体制の充実を目指す。 参考：令和4年度末 特定医療費受給者数3224人、うち神経難病978人、在宅人工呼吸器装着者34人</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 現在338疾患が指定難病対象疾患として指定されている。医療ケアを必要とする在宅療養患者のQOL向上のための更なる支援体制の充実、災害支援体制の整備が求められている。 (見直しや改善等の経過) 難病患者の在宅療養支援者対象の研修会、ケース会議を開催している。平成27年度より難病対策地域協議会で課題を検討しているが、平成29年度からは災害支援部会も設置し災害支援体制整備を推進している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	介護支援専門員、訪問看護師、ヘルパー等の在宅療養支援従事者や職員、難病患者とその家族を対象に
目的(何のために)	在宅療養支援従事者や窓口相談に従事する職員の資質向上と難病患者の災害時支援を含めた在宅支援体制の充実のために
手段(どのようなやり方で)	個別相談、従事者研修会、ケアマネジメントアドバイザー事業、ケース検討会議、難病対策地域協議会を実施することで
成果(どのような状態にするのか)	在宅療養支援従事者のケアマネジメントやケア技術の向上とともに難病患者の支援体制の充実を図る。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,175	8,739	8,120	8,510	8,510	8,510	8,510
事業費	363	354	659	659	659	659	659
国庫支出金	329	318	247	247	247	247	247
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	34	36	412	412	412	412	412
人件費計	8,812	8,385	7,461	7,851	7,851	7,851	7,851
事務・技術(人)	0.90	0.92	0.73	0.78	0.78	0.78	0.78
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.52	0.39	0.57	0.57	0.57	0.57	0.57
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0145
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00460 難病患者地域支援対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-05-72-00-01-00	難病患者地域支援対策推進事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)従事者の資質向上にかかる事業の実施回数	回	30.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00	24.00
(活動)難病に関する相談者数(延べ人数)	人	3,000.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00	3,355.00
(成果)従事者の資質向上にかかる事業の参加者数(延べ人数)	人	500.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00	359.00
		364.00	245.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	難病特別対策推進事業実施要綱等で保健所業務として示されている		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	従事者研修会の参加者が減ったが、ケース検討会は増えている		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	集合研修のみでオンラインを併用せず、参加者数が減った。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	療養が長期にわたる難病患者の在宅療養の質の向上に貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	在宅医療が推進される中で、難病患者においても在宅で医療機器を使用する等、医療ケアを必要とする患者が増加すると見込まれる。そのような患者のQOL向上に向けた支援を提供できるよう、おたずね票等から対象者の把握に努めるとともに、在宅療養支援従事者の研修を行う。また、医療ケアを必要とする難病患者の災害時の対応について、個別避難計画作成推進室と連携して災害時個別避難計画の作成を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	医療機関や居宅介護支援事業所、庁内関係各課等とケース検討会議を通じて連携するとともに、従事者研修会等の事業を行う。また、難病患者の災害時の避難行動について、個別避難計画作成推進費室と連携して個別避難計画の作成支援を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

436 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0146
評価年度 令和 4年度
所属 1443
事務事業番号 00464

進捗区分 部局評価
健康保険部保健所保健予防課
感染症予防事業

所属長名 松浦 康之
記入者 佐々木 雄一

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	003	感染症予防事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>感染症の発生予防から感染拡大の防止及び感染症にかかる地域連携体制づくりをすすめるため、感染症発生動向調査事業、予防啓発活動、感染症発生時の防疫対応、感染症対策従事者研修会、感染症対策実務担当者連絡会議等を行う。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>令和4年9月26日から新型コロナウイルス感染症発生届の対象を65歳以上の方など4類型に限定され、保健医療体制の強化、重点化を進められた。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>引き続き新型コロナウイルス感染症の積極的疫学調査の範囲を重症化リスクの高い施設に集中して実施する等、調査対象の重点化を図った。</p> <p>保育施設における感染性胃腸炎の集団発生時も過去に実地指導を行っていない施設等に重点をおいて指導した。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民、保健・医療・福祉・教育機関等の関係者に対し
目的(何のために)	感染症の発生予防、感染拡大の防止、感染症対策にかかる地域連携体制づくり及び危機管理体制の整備のために
手段(どのようなやり方で)	ホームページ・メール配信システムや広報による情報提供、健康教育等による感染症に関する啓発活動、研修会や会議等による地域の感染症対策担当者の資質向上と課題の共有・解決にむけた検討会を実施し
成果(どのような状態にするのか)	感染症を正しく理解し、適切な行動により発生が予防でき、感染症集団発生リスクが高い施設等において適切に拡大防止策が講じられる。また、感染症にかかる地域連携体制が充実し、危機管理事象への対応ができる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	547,875	759,261	632,714	97,823	97,823	97,823	97,823
事業費	375,800	593,537	587,246	52,355	52,355	52,355	52,355
国庫支出金	109,080	238,065	82,034	25,457	25,457	25,457	25,457
県支出金	69,200	208,951	445,560	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	197,520	146,521	59,652	26,898	26,898	26,898	26,898
人件費計	172,075	165,724	45,468	45,468	45,468	45,468	45,468
事務・技術(人)	21.18	18.25	4.78	4.78	4.78	4.78	4.78
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.85	7.54	2.64	2.64	2.64	2.64	2.64
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

437 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0146
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00464 感染症予防事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-03-00	感染症予防事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 社会福祉施設等からの感染症集団発生報告に基づく指導実	%	100.00 30.43	100.00 93.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
(活動) 感染症情報の発信回数	回	180.00 180.00	180.00 141.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
(成果) 前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	0.00 57.10	0.00 43.30	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
(成果) 感染症情報を発信した関係機関の延べ数	件	5,000.00 6,213.00	5,000.00 6,998.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	感染症対策は法令に基づき市が実施しなければならない事業である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	予防啓発・実地指導の方法について検討が必要である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	対象となる施設への予防啓発・指導の効果検証が必要である		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	市民の安心・健康な暮らしに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の集団発生時は、引き続き関係機関と連携し初動体制を確保する。重症化リスクの高い施設で集団発生が疑われる場合は、速やかに積極的疫学調査を実施し、感染拡大を未然に防げるよう指導していく。 感染症の集団発生リスクの高い保育施設については、施設が異状を早期に探知し、拡大防止対策の適切な実施により早期に収束できるよう調査支援を徹底する。 地域の感染症対策担当者の資質の向上のため、新型コロナウイルス対応のため縮小していた研修会等を再開する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	平時から感染症対策及び体制整備を図るとともに、速やかな情報提供、周知・啓発により感染症の発生予防及び拡大防止に努める。新型コロナウイルス感染症対策については、重症化リスクの高い高齢者施設等でも集団発生の探知と適切な指導・支援により感染拡大防止に努めるとともに、医療提供体制が継続できるよう医師会等関係者との情報共有を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00464 感染症予防事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 社会福祉施設等からの感染症集団発生報告に基づく指導実	%	100.00 30.43	100.00 93.10	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	保育園や高齢福祉施設への現地調査及び感染拡大防止のための指導						
(活動) 感染症情報の発信回数	回	180.00 180.00	180.00 141.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00	180.00 0.00
	指標説明	感染症発生動向調査情報（週報、月報）の還元、臨時の情報発信						
(成果) 前年度指導した施設からの感染症集団発生率	%	0.00 57.10	0.00 43.30	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	前年度発生施設からの報告数／当年度発生報告総数						
(成果) 感染症情報を発信した関係機関の延べ数	件	5,000.00 6,213.00	5,000.00 6,998.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00	5,000.00 0.00
	指標説明	情報発信回数×情報発信した機関数						

事務事業評価シート（1/2）

439 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0147
評価年度 令和 4年度
所属 1443
事務事業番号 00466

進捗区分 部局評価
健康保険部保健所保健予防課
特定感染症予防対策事業

所属長名 松浦 康之
記入者 山口 繭子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	005	特定感染症予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	感染症の予防および感染症の患者に対する医療に関する法律				
事業概要	<p>(事業概要) 特定感染症【エイズ、梅毒、B型肝炎、C型肝炎、HTLV-1（ヒトT細胞白血病ウイルス1型）感染症、風しん】の予防と感染拡大の防止、感染者の早期治療と療養支援を図るため、特定感染症に関する予防・啓発活動、相談・検査事業、HIV陽性者への個別支援活動、肝炎にかかる医療費の公費負担申請（肝炎治療特別促進事業）の受付業務を行う。平成31年2月から、風しんの追加的対策の一環で、公的な予防接種の機会が無かった男性を対象に抗体検査を実施している。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 滋賀県ではエイズ発症後の発見率が高く、性感染症への関心が薄れていることが指摘・懸念されている。また、新型コロナウイルスの流行で全国的に検査数が減少しており、大津市でも同様である。一方で梅毒患者は増加しており、大津市においても毎年、届出件数は数件であったが、令和3年度は14件、令和4年度は16件の梅毒の発生届を受理している。 (見直しや改善等の経過) HIVの新規登録者は20~30代の男性に、梅毒は若年の女性での増加が問題になっていることから、若年層への性感染症予防啓発として、大学、専門学校にポスター掲示や資料設置を依頼した。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民に対し
目的(何のために)	特定感染症の発生予防、早期発見・早期治療、感染拡大の防止および感染者の支援のために
手段(どのようなやり方で)	性感染症検査相談を直営で実施し、リスクの高い層に感染予防の指導や啓発を行っている。また、HIV陽性者に対し、カウンセラーによる個別支援を実施している。風しん抗体検査事業は医療機関委託により身近な医療機関で受検できる体制を整えている。
成果(どのような状態にするのか)	特定感染症について正しく理解し、行動することで感染症を予防することができ、早期発見・早期治療を行うことで、感染拡大防止や発症を防止することができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	48,713	47,345	38,460	28,877	13,623	13,623	13,623
事業費	41,148	40,597	31,712	22,129	6,875	6,875	6,875
国庫支出金	20,545	24,326	15,735	10,929	3,303	3,303	3,303
県支出金	6	7	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	20,597	16,264	15,977	11,200	3,572	3,572	3,572
人件費計	7,565	6,748	6,748	6,748	6,748	6,748	6,748
事務・技術(人)	0.81	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73	0.73
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.35	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34	0.34
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

440 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0147
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00466 特定感染症予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-10-00	特定感染症予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 特定感染症検査の啓発活動・HIV予防啓発活動の回数	回	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
(活動) 特定感染症検査実施回数（日数）	回	78.00	77.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
(成果) 特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
		1,055.00	1,451.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		550.00	600.00	700.00	800.00	800.00	800.00	800.00
		448.00	539.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	特定感染症予防指針に基づき実施している		
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	前年度と比し受検者数がやや回復している		
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	若年層・高齢者施設へ、啓発をしたが受検者数は増加しなかった。		
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	受検者数は少ないが、受検者には予防的介入ができています		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	受検者数は、新型コロナウイルス感染症の流行前に比べると減少しているものの、昨年度と比較し回復傾向にある。全国的に若年層で梅毒患者が増加しており、大津市も同様である。大学等への啓発を行ったが、令和5年度はホームページやメール配信サービスを活用し、患者報告の多い若年層に効果的な周知・啓発活動を行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	特定感染症に関する正しい知識の普及・啓発に努め、感染者の早期治療と療養支援を推進する。若年層における性感染症が増加していることから、患者の発生状況を把握し、必要な対象者に効果的に注意喚起や啓発を行う。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00466 特定感染症予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 特定感染症検査の啓発活動・H I V 予防啓発活動の回数	回	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00	45.00
	指標説明	78.00	77.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		資材設置協力校、医療機関等の延べ数＋広報回数＋介護保険課情報提供会での啓発回数						
(活動) 特定感染症検査実施回数（日数）	回	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00	22.00
	指標説明	22.00	22.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		特定感染症検査実施の年間実施回数（日数）						
(成果) 特定感染症に関する指導・相談件数（延件数）	人	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00	1,200.00
	指標説明	1,055.00	1,451.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		来所・電話相談件数						
(成果) 特定感染症検査の受検者数（延人数）	人	550.00	600.00	700.00	800.00	800.00	800.00	800.00
	指標説明	448.00	539.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
指標説明		来所による検査実施件数						

事務事業評価シート（1/2）

442 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0148
 評価年度 令和 4年度
 所属 1443
 事務事業番号 00467

進捗区分 部局評価
 健康保険部保健所保健予防課
 結核予防対策事業

所属長名 松浦 康之
 記入者 遠藤 千恵

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	006	結核予防対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>令和4年度の大津市の結核新規登録患者数は49人で、昨年度(47人)と比べ横ばいである。新型コロナウイルス感染症の流行前(令和元年度まで)と比較し、結核新規登録患者数は減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響による受診抑制から発見が遅れたことが指摘されており、単純に患者が減ったとは言い難い。また、重症化(発病・排菌患者)してからの届出数は横ばいであることから、重症者の比率が高止まりしていることが考えられる。引き続き予防啓発と感染拡大防止対策は重要である。患者の疫学調査、服薬療養支援、医療費の公費負担と入院勧告・就業制限に係る審議をするための感染症診査会の開催、接触者健診、精密検査、予防啓発活動等を行う。</p>
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>新型コロナウイルス感染症が流行したことで、結核検診の受診率が低下している。また、風邪症状があったとしてもコロナの検査で陰性であれば経過観察となり、結核の発見が遅れるケースが見受けられる。特に高齢者では介護サービスを利用していることが多く、施設の調査が必要となるケースが多い。また、健康保険未加入や経済的理由により受診が遅れた事例があった。</p> <p>(これまでの見直し)</p> <p>受診行動につながりにくい事例や服薬管理が困難な事例に対し、適切に治療が継続できるよう丁寧な支援を行った。</p>

【事業分析】

対象(何又は誰を)	結核患者とその接触者及び市民に対し
目的(何のために)	結核患者の早期発見、早期治療及びまん延の防止を図るために
手段(どのようなやり方で)	訪問、面接、電話等による服薬や生活指導など、療養支援等の患者管理や接触者に対する健康診断を実施する。また、市民に対しては、健康推進課及びすこやか相談所等の関係所属と連携し、啓発資材等による情報提供を行うことで
成果(どのような状態にするのか)	患者が治療中断することなく服薬を完了する。患者の接触者を速やかに特定し、早期の感染者発見に繋げる。市民が結核について理解することで、健診受診・早期受診の行動をとることができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	24,048	23,811	28,215	32,655	28,372	28,372	28,559
事業費	5,519	5,622	6,782	11,222	6,939	6,939	7,126
国庫支出金	1,189	1,500	1,235	1,235	1,235	1,235	1,235
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,330	4,122	5,547	9,987	5,704	5,704	5,891
人件費計	18,529	18,189	21,433	21,433	21,433	21,433	21,433
事務・技術(人)	1.70	1.70	2.10	2.10	2.10	2.10	2.10
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.59	1.59	1.63	1.63	1.63	1.63	1.63
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0148
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00467 結核予防対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-20-00-15-00	結核予防対策事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
	C あまり妥当ではない		
	D 妥当ではない		
評価理由	結核対策は法令に基づき市が実施しなければならない事業である		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
	C あまり上がっていない		
	D 上がっていない		
評価理由	治療完遂率が100%である		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
	C あまり効率的でない		
	D 効率的でない		
評価理由	個別の事情に合わせた支援・対応をしている		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
	C あまり貢献していない		
	D 貢献していない		
評価理由	市民の安心・健康な暮らしに貢献している		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	コロナ流行前と比較して、新規結核登録患者や潜在性結核患者は減少傾向にあるが、重症化してから（発病や排菌）の発見は横ばいであることから、早期発見にむけて啓発が必要である。大津市の患者のうち高齢者が8割を占めることから、介護サービスの利用に伴って施設の調査が微増している。個別支援が必要な方へより丁寧な関わりをしながら、薬局等の協力を得ながら、効果的に新規結核患者の治療完遂まで丁寧な服薬支援を継続する。定期健診や早期受診に繋がるよう関係機関と協力し、市民への啓発活動を引き続き実施する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	結核に関する正しい知識の普及・啓発に努め、結核の早期発見、患者支援、接触者健診の適切な実施等、感染拡大防止措置を図る。特に結核患者の多い高齢者層への知識の普及のため高齢者施設等関係機関との連携を図る。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00467 結核予防対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)新規登録患者の内、登録時相談指導を実施できた割合。	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	訪問、来所、電話による対応						
(成果)治療完遂率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	治療を完遂した患者の割合						

事務事業評価シート（1/2）

445 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0149
評価年度 令和 4年度
所属 1443
事務事業番号 00468

進捗区分 部局評価
健康保険部保健所保健予防課
予防接種事業

所属長名 松浦 康之
記入者 白井 洋成

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	008	保健衛生の確保				
取組の方向性	002	感染症等の健康被害の発生防止				
事務事業	007	予防接種事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	予防接種法				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>市民が身近なところで予防接種を受けられるよう医療機関に委託し、安全かつ正確に実施できるよう医療・教育関係機関と連携して予防接種事業を行っている。令和3年11月に子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨を差し控える旨の勧告が廃止され、対象者への接種勧奨を再開した。令和4年4月からは、接種機会を逃した方へのキャッチアップ接種を始めた。また、新たに造血幹細胞移植後の再接種費用助成制度を開始した。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>乳幼児、中高生では個別勧奨している予防接種のワクチン接種率が低下し、感染症の発生および蔓延の危険性が高まっており、予防接種に関する啓発や知識の普及がより重要となってきた。子宮頸がん予防ワクチンの積極的接種勧奨が再開され、キャッチアップ接種等の措置が始まった。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>制度改正に伴いマニュアル等を改訂し医療機関への情報の周知に努めるとともに、間違い接種への注意喚起を行い、円滑な接種、事故防止を図っている。個別通知や接種対象者が利用する教育・福祉機関への周知啓発を行い接種率向上にも努めている。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に				
目的(何のために)	疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することで、疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与するために				
手段(どのようなやり方で)	委託医療機関による個別接種（ジフテリア百日せき急性灰白髄炎及び破傷風、麻疹風しん、日本脳炎、結核、ヒブ、小児肺炎球菌感染症、HPV感染症、水痘、B型肝炎、ロタ、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌感染症）を実施することで				
成果(どのような状態にするのか)	感染症の発生予防につなげる。				

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	818,358	885,505	888,948	925,032	880,571	880,571	880,571
事業費	797,586	860,844	857,674	893,758	849,297	849,297	849,297
国庫支出金	0	64	0	46,962	46,962	46,962	46,962
県支出金	207	0	177	462	462	462	462
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	354	0	0	0	0	0
一般財源	797,379	860,426	857,497	846,334	801,873	801,873	801,873
人件費計	20,772	24,661	31,274	31,274	31,274	31,274	31,274
事務・技術(人)	1.62	1.87	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	2.52	3.25	2.54	2.54	2.54	2.54	2.54
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

446 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0149
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 事務事業番号 00468 予防接種事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-15-43-00-01-00	予防接種事業費	健康保険部保健所保健予防課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00	76,000.00
		68,379.00	74,360.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00	47,000.00
		52,085.00	54,510.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		91.50	90.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00	51.00
		56.00	58.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	予防接種法に基づき市が実施する事業である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	疾病予防に有効なワクチンの接種により、感染症の発生予防に寄与		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	医療機関委託による個別接種であり近くのかかりつけ医で接種可能		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	予防接種の推進により、感染症の発生及びまん延を防止している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、接種率の向上に向けて、研修会等を通して医療機関へ情報の周知に努めるとともに、間違い接種の注意喚起を行い、定期予防接種事業を安全かつ円滑に実施していく。新たに加わる定期接種の動向についても、早期に情報を把握し速やかな周知に努める。子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開については、これまでの経緯も踏まえて、丁寧に正確な情報の周知を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	予防接種の安全実施と接種率の向上に努める。また、規定の期間内に接種することの重要性及び定期予防接種の制度改正についての周知を徹底する。さらに、医療機関との情報共有を進め連携を図っていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 部局評価
 所属 1443 健康保険部保健所保健予防課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00468 予防接種事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)乳幼児・小中高の延接種者数	人	76,000.00 68,379.00	76,000.00 74,360.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00	76,000.00 0.00
	指標説明	各予防接種の延接種者数（日脳特例対象者を含む）						
(活動)高齢者インフルエンザの接種者数	人	47,000.00 52,085.00	47,000.00 54,510.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00	47,000.00 0.00
	指標説明	高齢者インフルエンザの接種者数						
(成果)乳幼児・小中高の接種率	%	100.00 91.50	100.00 90.70	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	個別勧奨している予防接種（MR 2期、二種混合）の平均予防接種率（接種者数／対象者数）						
(成果)高齢者インフルエンザの接種率	%	51.00 56.00	51.00 58.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00	51.00 0.00
	指標説明	接種率（接種者数／対象者数）						

事務事業評価シート（1/2）

448 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0150
 評価年度 令和 4年度
 所属 1402
 事務事業番号 00479

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所健康推進課
 歯科保健推進事業

所属長名 白須 誠義
 記入者 藤崎 ともみ

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	018	歯科保健推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	健康増進法、歯科口腔保健法、大津市手数料条例、国民健康保険法、国民健康保険事業計画				
事業概要	(事業概要) 市民の口腔の健康を保持・増進するために、歯科保健推進協議会を設置し適切な事業を実施する。 成人歯科保健対策として、歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯や口腔に関する意識の向上を図るため歯周病検診（30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦）を実施する。				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 対象者の多くは就労者であるが、産業保健において歯周病検診はほとんど実施されていない。 (見直しや改善等の経過) 平成28年度より対象者を拡充し、30歳・35歳・40歳・45歳、妊婦を対象に実施している。節目対象者には個別受診勧奨はがきを送付、妊婦には母子手帳別冊にクーポン券の挟みこみや案内チラシを配布し周知・啓発を行っている。令和5年度より、受診率の向上および出産支援の更なる充実を図るために、妊婦の自己負担金を無料化にして実施している。				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	歯周病検診については30歳・35歳・40歳・45歳の市民および妊婦（市民）を対象に
目的(何のために)	歯周病の予防・早期発見・早期治療を推進し、歯・口腔に関する意識の向上を図るために
手段(どのようなやり方で)	地域の登録歯科医療機関において、歯科検診および歯科保健指導を実施し
成果(どのような状態にするのか)	自分の口腔内の状況を知り、健康管理のできる市民を増やす。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		12,109	15,089	18,749	17,396	16,853	16,920	16,986
事業費		6,317	6,638	9,518	8,165	7,622	7,689	7,755
国庫支出金		44	45	43	43	293	293	293
県支出金		661	684	521	660	521	521	521
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		639	685	420	427	434	441	448
一般財源		4,973	5,224	8,534	7,035	6,374	6,434	6,493
人件費計		5,792	8,451	9,231	9,231	9,231	9,231	9,231
事務・技術(人)		0.60	1.00	1.10	1.10	1.10	1.10	1.10
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.32	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21	0.21
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

449 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0150
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00479 歯科保健推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-45-00	歯科保健推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,200.00	1,800.00	1,213.00	1,238.00	1,256.00	1,274.00
		1,114.00	1,163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 歯周病検診の受診率	%	5.20	6.10	9.90	6.70	6.80	6.90	7.00
		6.00	6.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価	
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A	
		B ほぼ妥当である		
		C あまり妥当ではない		
		D 妥当ではない		
評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が行うのが妥当である			
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A	
		B やや上がっている		
		C あまり上がっていない		
		D 上がっていない		
評価理由	受診人数・受診率は上昇傾向にある			
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A	
		B やや効率的である		
		C あまり効率的でない		
		D 効率的でない		
評価理由	実施期間を通年とし、受診勧奨はがきを送付している			
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A	
		B やや貢献している		
		C あまり貢献していない		
		D 貢献していない		
評価理由	就労世代を対象とすることで、歯周病の早期発見につながる			
評価理由				

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	歯周病検診については、今後も受診率向上に向け、費用対効果を考え、効果的な受診勧奨について大津市歯科医師会をはじめ関係団体と協議・相談し、啓発強化に取組んでいく。また令和5年度においても、国保保健事業と連携して歯科受診勧奨や歯周病と全身疾患との関係についての普及啓発等、口腔保健の推進に向けた取組みを進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	さらなる受診率の向上を目指し、市民への周知啓発に努めるとともに、効果的な受診勧奨等について、関係団体と協議を進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00479 歯科保健推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 歯周病検診の受診者数	人	1,200.00	1,200.00	1,800.00	1,213.00	1,238.00	1,256.00	1,274.00
	指標説明	1,114.00	1,163.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		歯周病検診の受診者数(平成28年度からは、検診対象年齢を拡大)						
(成果) 歯周病検診の受診率	%	5.20	6.10	9.90	6.70	6.80	6.90	7.00
	指標説明	6.00	6.40	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		受診者数/対象者数						

事務事業評価シート（1/2）

451 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0151
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 00480

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
肝炎ウイルス検査事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	019	肝炎ウイルス検査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	健康増進法、大津市手数料条例				
事業概要	<p>(事業概要) 肝炎対策の一環として、肝炎ウイルスに関する正しい知識を普及させるとともに、市民が自身の肝炎ウイルス感染状況を認識し、必要に応じて医療機関を受診することにより、肝炎による健康障害の回避、症状の軽減、又は進行の遅延を図ることを目的とし、医療機関に委託して肝炎ウイルス検診を実施している。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 血液製剤による薬害訴訟を契機に制度化され、平成14年度から実施している。肝炎は潜伏期間が長く、肝炎ウイルス検査による早期発見が重要である。令和2年度は、新型コロナウイルスの国内流行が検診事業に影響した。 (見直しや改善等の経過) 健康増進法に基づき実施しており、国の補助事業として41歳から61歳までの節目年齢の市民を対象に無料クーポン券を送付している。また、平成28年度からは、市負担で40歳の市民にも無料クーポン券を送付している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	40歳以上で、過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない、または、特定健診等で肝機能検査数値が保健指導判定値であった市民を対象に
目的(何のために)	肝炎による健康障害の回避、症状の軽減又は進行の遅延を図るため
手段(どのようなやり方で)	市内実施医療機関において通年実施、及び、集団特定健診と同日実施することで
成果(どのような状態にするのか)	肝炎ウイルス検査の受診者数の増加を図り、重症化予防につなげる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	18,960	13,416	16,969	15,106	15,106	15,106	15,106
事業費	11,630	8,896	14,399	12,536	12,536	12,536	12,536
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	8,140	6,249	9,996	8,634	8,634	8,634	8,634
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	269	326	314	318	318	318	318
一般財源	3,221	2,321	4,089	3,584	3,584	3,584	3,584
人件費計	7,330	4,520	2,570	2,570	2,570	2,570	2,570
事務・技術(人)	0.80	0.50	0.25	0.25	0.25	0.25	0.25
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.30	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

452 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0151
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00480 肝炎ウイルス検査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-50-00	肝炎ウイルス検診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 受診者数	人	2,700.00	2,500.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00
		1,981.00	1,435.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) C型肝炎ウイルス陽性者受療率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康増進法に基づく事業であり、市が実施することが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	C
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	新型コロナの影響を受け、陽性者の受療状況が把握できていない。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	集団検診として特定健康診査と同時受診できる体制を整えている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	感染の可能性がある者を確実に医療につなげる。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	引き続き、検診初年度となる40歳の市民へ無料クーポンを送付する。また、41歳から61歳の5歳刻みの節目年齢者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことのない市民へ無料クーポン券を送付する。さらに、新型コロナウイルス感染症の影響により対応できていなかった陽性者の追跡調査を令和5年度より再開し、受療の状況を把握する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率向上を目指し、より効果的な受診勧奨方法などにより事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00480 肝炎ウイルス検査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)受診者数	人	2,700.00	2,500.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00	2,400.00
	指標説明	1,981.00	1,435.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		肝炎ウイルス検査受診者総数						
(成果)C型肝炎ウイルス陽性者受療率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		C型肝炎ウイルス陽性となった者が医療機関を受診した率						

事務事業評価シート（1/2）

454 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0152
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 00481

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
健康推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 島村 幸子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	020	健康推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	食育基本法、健康増進法					
事業概要	<p>(事業概要) 健康は家庭生活の基盤であり、健康づくりのための正しい知識の普及に努めることは重要である。この目的を達成するために、地域の健康づくりリーダーである健康推進員を平成10年度より、本市事業として養成している（それまでは県が養成）。令和4年度の大津市健康推進員数は378名となっている。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) コロナ禍においても生活習慣病の予防等、健康づくりを推進していくことは重要であり、市民の関心も高い。市民自ら健康づくりを実践するため、地域の健康づくりリーダーの養成が求められる。 (見直しや改善等の経過) 効率化を図るため、養成講座は修了に必要な時間を減らし、受講会場は1箇所で開催。広報おつにて周知し公募を行い、活動の継続のため事前説明会を実施。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	各学区健康推進連絡協議会理事から推薦を受けた市民・公募により申し込みをした市民（養成講座）および大津市健康推進連絡協議会会員に
目的(何のために)	地域の健康づくりリーダーである健康推進員の養成、および現役健康推進員の資質向上を図り、地域の健康づくりを推進するため
手段(どのようなやり方で)	養成講座（10講座、8か月間、1会場）と、会員研修・専門研修会を開催し
成果(どのような状態にするのか)	健康推進員の養成・研修を充実し、市民の健康づくりを地域で支援できるようにする。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,758	5,501	5,208	5,208	5,208	5,208	5,208
事業費	1,558	1,601	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,558	1,601	1,698	1,698	1,698	1,698	1,698
人件費計	3,200	3,900	3,510	3,510	3,510	3,510	3,510
事務・技術(人)	0.40	0.50	0.45	0.45	0.45	0.45	0.45
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

455 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0152
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00481 健康推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-04-00	健康推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)養成講座開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		10.00	10.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
		3.00	4.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)養成講座受講者数	人	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		22.00	11.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)研修受講率（参加学区数／学区数）	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
		91.30	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	健康おおつ21に基づく事業であり市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	受講率は減少したが、健康推進員を養成し地域で支援できている。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	養成講座や会員研修などで最新の知識や情報を得られている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	健康推進員が健康づくりリーダーとして地域で活躍している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	地域での健康づくり活動の推進のためには、リーダーとなる人材が必要である。会員の資質向上のため、健康おおつ21や食育推進計画、市民の健康課題を踏まえた内容の研修を行っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	市民の健康づくりには、健康推進連絡協議会の地道な活動が欠かせないことから、引き続き支援に努めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度
 所属 1402
 総合計画 03
 事務事業番号 00481

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所健康推進課
 大津市総合計画 第2期実行計画
 健康推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)養成講座開催回数	回	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	養成講座の開催回数						
(活動)会員研修・専門研修開催回数	回	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00
	指標説明	会員研修・専門研修の開催回数						
(成果)養成講座受講者数	人	20.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
	指標説明	養成講座の受講者数						
(成果)研修受講率(参加学区数/学区数)	%	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00	80.00
	指標説明	会員研修・リーダー研修の受講率						

事務事業評価シート（1/2）

457 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0153
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 00482

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
乳幼児健診事業

所属長名 白須 誠義
記入者 中島 美和

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	013	乳幼児健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法					

事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>乳幼児の健康状態を把握し、疾病の早期発見・早期治療につなげることを目的に、乳幼児健診を4か月、10か月、1歳9か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に実施している。更に乳児期の育児支援の場として、赤ちゃん相談会を実施している。事後指導として、発達相談、育児相談などを実施し、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室、医師による発達外来等につなぎ、発達支援や育児支援を行っている。</p>					
------	--	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>発達障害や児童虐待の早期発見と育児支援の窓口として、乳幼児健診の果たす役割は大きいですが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に約4か月間健診を中止していたため、乳幼児健診を受ける時期が遅れている状況が続いていた。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で健診対象時期が遅れたため、乳幼児健診の対象者には健診の案内を送付し、受診勧奨を行っている。令和5年12月には健診の遅れを解消する見込みである。今後も、受診率向上をめざし、保護者に乳幼児健診の重要性を理解してもらえるように啓発を行う。</p>					
----------------------	--	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	乳幼児とその保護者に					
目的(何のために)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難(育てにくさや育児力の課題)の早期発見、それらの対応と育児支援のために					
手段(どのようなやり方で)	4か月児健診は個別医療機関委託、その他は直営集団方式で実施している。健診の結果、発達支援が必要な場合は、個別相談を重ね、発達支援療育事業、療育前早期対応親子教室等につないでおり					
成果(どのような状態にするのか)	乳幼児の疾病や発達障害及び養育困難を早期に発見し、迅速に支援を開始することで、すべての子どもの健やかな発達を保障し、また保護者の育児不安、養育困難の軽減を図り虐待予防に寄与する。					

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	126,592	134,243	133,831	134,871	133,935	133,563	133,347
事業費	36,116	29,891	29,058	30,098	29,162	28,790	28,574
国庫支出金	214	774	382	225	140	140	140
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	3,427	3,400	3,259	2,975	2,772	2,701	2,701
一般財源	32,475	25,717	25,417	26,898	26,250	25,949	25,733
人件費計	90,476	104,352	104,773	104,773	104,773	104,773	104,773
事務・技術(人)	8.38	9.42	9.16	9.16	9.16	9.16	9.16
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	7.56	9.96	10.75	10.75	10.75	10.75	10.75
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

458 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0153
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00482 乳幼児健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-01-00	乳幼児健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 受診者数	人	13,733.00	13,848.00	13,289.00	12,542.00	12,287.00	11,951.00	11,748.00
		12,782.00	13,147.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		90.30	88.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	受診率は低下したが、受診者数は増加している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	発達や育児支援を多角的に分析し評価している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	乳幼児健診が乳幼児とその家族の支援の手立ての場となっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	乳幼児健診が全ての健診対象児と保護者にとっての支援の場となることを目指し、保護者に健診の重要性を理解していただけるように啓発に努め、受診率の向上を図る。また、保護者が安全安心に乳幼児健診を受けられるように、体制の整備や質の向上に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	更なる受診率向上を目指し、市民への周知啓発を行うとともに、円滑な健診の実施に努める。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00482 乳幼児健診事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 受診者数	人	13,733.00 12,782.00	13,848.00 13,147.00	13,289.00 0.00	12,542.00 0.00	12,287.00 0.00	11,951.00 0.00	11,748.00 0.00
	指標説明	各健診の受診者の総数						
(成果) 受診率	%	100.00 90.30	100.00 88.50	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
	指標説明	受診者数 / 対象者数						

事務事業評価シート（1/2）

460 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0154
 評価年度 令和 4年度
 所属 1402
 事務事業番号 00483

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所健康推進課
 母性保健事業

所属長名 白須 誠義
 記入者 米丸 和花菜

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	014	母性保健事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	(事業概要) いきいきと楽しく豊かな子育てを実現する親が増えるためには、思春期からの健康教育や、妊娠中からの母性父性の教育が必要である。性に関する健康教育、マタニティサロン、両親教室等を実施することにより安心して健やかな妊娠・出産・子育てを支援していく。令和5年2月より国の施策に基づき、妊娠期から出産子育てまで一貫して子育て家庭に寄り添い、さまざまなニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援事業を経済的支援と一体的に実施。 (予算事業の見直し) 令和5年度から多胎児家庭育児支援事業について、母性保健事業に編入した。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 核家族化や地域との交流の減少により、身近な人を通して学ぶ機会が減少している。また、新型コロナウイルス感染症の影響により医療機関での教室が減少し、妊娠・出産についての情報を得る機会が減少している。 (見直しや改善等の経過) ニーズの高い対面での教室開催、参加人数を調整することにより、新型コロナウイルス感染症拡大予防に配慮しながら教室運営を実施。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊産婦及びそのパートナー、子どもとその保護者、思春期の若者が
目的(何のために)	健康の保持増進を図るため
手段(どのようなやり方で)	性に関する健康教育や初めてのパパママ教室、マタニティサロン等による妊娠・出産・育児についての情報提供や仲間作りの場に参加することで
成果(どのような状態にするのか)	健やかな妊娠期を過ごし出産を迎えることができる。親が安心して育児ができ、子どもが健やかに育つ。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	39,672	34,617	37,142	37,093	37,943	37,170	37,183
事業費	16,537	13,085	6,639	6,590	7,440	6,667	6,680
国庫支出金	6,521	8,868	1,243	1,098	1,098	1,098	1,098
県支出金	194	118	843	1,058	1,058	1,058	1,058
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	9,822	4,099	4,553	4,434	5,284	4,511	4,524
人件費計	23,135	21,532	30,503	30,503	30,503	30,503	30,503
事務・技術(人)	2.33	2.22	2.77	2.77	2.77	2.77	2.77
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.45	1.36	2.87	2.87	2.87	2.87	2.87
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

461 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0154
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00483 母性保健事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-01-00	母性保健事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) マタニティサロン母親学級 実施回数	回	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00	13.00
		9.00	13.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 初めてのパパママ教室の実施回数	回	9.00	9.00	18.00	18.00	18.00	18.00	18.00
		14.00	18.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 仲間づくりに役立ったと答える妊婦割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		86.80	84.31	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 父親の役割についてよくわかった人の割合（令和2年指標）	%	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00	60.00
		41.10	73.63	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	仲間作りに役立ったと答える妊婦の割合がやや減少した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	参加者の満足度は高い。教室の一部は委託により実施。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	妊娠から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症の影響により、各医療機関において母親教室・両親教室などが中止され、市で実施する教室は参加者も多くニーズが高かった。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、今後参加者が増えていく中、父親の育児参加によるニーズの多様化に対応するため、事業内容の充実に努める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	健やかな妊娠期を過ごし、安心して子育てができるよう、広く周知啓発に努め、計画的、継続的に事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00483 母性保健事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) マタニティサロン 母親学級 実施回数	回	13.00 9.00	13.00 13.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00	13.00 0.00
指標説明		実施回数						
(活動)初めてのパパママ 教室の実施回数	回	9.00 14.00	9.00 18.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00	18.00 0.00
指標説明		実施回数						
(成果)仲間づくりに役 立ったと答える妊婦割 合	%	100.00 86.80	100.00 84.31	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00	100.00 0.00
指標説明		マタニティサロン終了後のアンケートで役立ったと答えた者 102人中86人						
(成果)父親の役割につ いてよくわかった人の 割合(令和2年指標)	%	60.00 41.10	60.00 73.63	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00	60.00 0.00
指標説明		パパママ教室で母親をサポートする役割を求められていることがよく分かったと答えた者 201人中148人						
(成果)多胎児家庭育児 支援事業申請者利用率	%	0.00 0.00	0.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
指標説明		訪問実家庭組数 / 申請家庭組数 ※令和5年度から多胎児家庭育児支援事業を母性保健事業に編入したため、評価指標を追加。						

事務事業評価シート（1/2）

463 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0155
 評価年度 令和 4年度
 所属 1402
 事務事業番号 00485

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所健康推進課
 産後うつ対策事業

所属長名 白須 誠義
 記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	015	産後うつ対策事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					
事業概要	(事業概要) 新生児のいる家庭を看護職が訪問し、母子および家族の養育環境を踏まえた相談を行い、必要に応じて継続支援や医療機関受診につなげる。また、乳児期早期の母親の育児不安の軽減と虐待予防を目的に親子の絆づくりプログラム“BPプログラム”、産後ケア事業を実施している。					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 核家族世帯の増加等、育児中の親が孤立する傾向がある。情報源がインターネットとなっていることも多くみられる。感染予防に配慮して、事業を継続した。 (見直しや改善等の経過) 市内5か所に助産師を配置し、母乳育児等への相談体制を強化。コロナ感染症対応に伴い妊娠中から切れ目のない支援を図るため、産後2週目に相談案内を送付、3週目以降に電話での状況確認を実施。産後の心身ケアを目的に産後ケア事業を実施。“BPプログラム”は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮して、10組定員で、10クール実施。					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	主に新生児とその母親が
目的(何のために)	妊産婦並びに乳児の健康の保持増進のため
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付時に産後うつの啓発。出産後家庭訪問、産後うつスクリーニングの実施。伴走型相談支援事業で妊産婦支援の充実を図る。親子の絆づくりプログラム“BPプログラム”を実施。産後の心身のケアや育児サポート等を行い、産後も安心して子育てできる支援体制を確保する目的で産後ケア事業を実施することにより
成果(どのような状態にするのか)	新生児が健康に育つ。産後の女性が必要に応じて、心身の状態や育児について相談でき、安心して子育てを行っていくことができる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	46,286	48,732	48,693	49,302	49,239	49,164	49,169
事業費	1,394	2,343	2,926	3,535	3,472	3,397	3,402
国庫支出金	556	1,096	1,359	1,664	1,633	1,601	1,600
県支出金	71	149	204	234	232	220	231
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	201	0	0	0	0	0	0
一般財源	566	1,098	1,363	1,637	1,607	1,576	1,571
人件費計	44,892	46,389	45,767	45,767	45,767	45,767	45,767
事務・技術(人)	3.86	3.67	3.01	3.01	3.01	3.01	3.01
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	4.52	5.73	7.19	7.19	7.19	7.19	7.19
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

464 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0155
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00485 産後うつ対策事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-05-00	産後うつ対策事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)BPプログラム実施回数	回	44.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
		36.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)新生児訪問実施率	%	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00
		86.47	84.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)BP教室 定員充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		76.53	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)母親がイライラしたり、気分が落ちこむと回答した割合	%	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
		11.15	12.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	教室の充足率は増加しているが、母親の心身の状態はやや低下。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	定員充足率を高めるなど、より効果的に事業を進めている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	妊娠期から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	妊娠期からの切れ目ない支援により、新生児訪問等を通じて、親が安心して育児ができるように事業を推進していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	妊娠期からの切れ目のない支援により、母子の心身の状況の把握に努め、安全安心に育児ができるよう事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

465 頁
令和 5年 9月 5日

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
事務事業番号 00485 産後うつ対策事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)BPプログラム 実施回数	回	44.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00	40.00
	指標説明	36.00	40.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
BPプログラム実施回数（令和2年度よりコロナにて、同日に5クール午前・午後開催を実施。）令和3年度は9クール（うち2クールはオンライン開催）、令和4年度は、10クール実施。								
(活動)新生児訪問実施率	%	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00
	指標説明	86.47	84.29	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
訪問数/出生数								
(成果)BP教室 定員充足率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	76.53	96.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
参加組数/定員組数 R3 参加組数 75組 定員組数 98組 R4 参加組数 96組 定員組数 100組								
(成果)母親がイライラしたり、気分が落ちこむと回答した割合	%	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00
	指標説明	11.15	12.54	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4か月児健診時の問診票項目より集計 「はい」と答えた人数 293人 受診者 2336人								

事務事業評価シート（1/2）

466 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0156
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 00489

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
基本健康診査事業

所属長名 白須 誠義
記入者 岡村 有里

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	015	基本健康診査事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	<p>(事業概要) 健康増進法に基づき、医療保険に加入していない40歳以上の生活保護受給者等を対象に、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）予防のための基本健康診査を医療機関に委託して実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 生活保護受給者の増加に伴い医療扶助額も増加している。令和3年1月から「被保護者健康管理支援事業」による受診勧奨が開始された。 (見直しや改善等の経過) 医療保険に加入していない方の健診が健康増進法に定められたことから実施している。平成27年度から75歳以上については後期高齢者医療制度健康診査の基準に基づき対象者を抽出している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	40歳以上で医療保険に加入していない大津市の生活保護受給者及び中国残留邦人等の支援受給者を対象に
目的(何のために)	メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）をはじめとした生活習慣病の早期発見及び重症化予防を図るため
手段(どのようなやり方で)	市内登録医療機関において6月から翌年の1月まで基本健康診査を実施し
成果(どのような状態にするのか)	健診受診者数及び受診率の向上を図り、医療機関で健診結果の説明を受けることで、生活習慣病予防や重症化予防に取り組む人が増える。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	4,059	3,900	5,193	5,471	5,586	5,708	5,837
事業費	2,949	2,730	2,947	3,225	3,340	3,462	3,591
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	1,900	1,610	1,886	2,156	2,233	2,314	2,402
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	1,049	1,120	1,061	1,069	1,107	1,148	1,189
人件費計	1,110	1,170	2,246	2,246	2,246	2,246	2,246
事務・技術(人)	0.10	0.15	0.28	0.28	0.28	0.28	0.28
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.10	0.00	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

整理番号 0156
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00489 基本健康診査事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-15-00	基本健康診査事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)基本健康診査受診者数	人	300.00	300.00	280.00	311.00	322.00	335.00	347.00
		288.00	264.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)基本健康診査受診率	%	10.00	10.50	9.80	10.50	10.50	10.50	10.50
		10.50	9.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	対象者の健康を守るために更なる受診率の向上が必要。生活福祉課では、「被保護者健康管理支援事業」において基本健診未受診者に対して受診勧奨を実施している。効果的な受診勧奨となるよう、資料等の情報提供など連携していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	生活保護受給者に対する生活習慣病の早期発見のために、生活福祉課と連携していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00489 基本健康診査事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)基本健康診査受診者数	人	300.00	300.00	280.00	311.00	322.00	335.00	347.00
	指標説明	288.00 264.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 基本健康診査受診者数						
(成果)基本健康診査受診率	%	10.00	10.50	9.80	10.50	10.50	10.50	10.50
	指標説明	10.50 9.20 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 受診者数 ÷ 対象者数 × 100						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0157
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 00563

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
特定健診・保健指導事業

所属長名 白須 誠義
記入者 山本 裕子

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	002	心豊かに暮らせる、福祉が充実したまちにします				
施策	006	安定した社会保障制度の運営				
取組の方向性	001	生活の安心を支える支援				
事務事業	051	特定健診・保健指導事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律					

事業概要	<p>(事業概要) メタボリックシンドロームに着目した健康診査（特定健康診査）及び保健指導（特定保健指導）の実施が医療保険者に義務付けられ、生活習慣病を中心とした疾病予防及び医療費の適正化を目指すことになった。このことにより、本市は大津市国民健康保険特定健康診査等実施計画（（3期目）平成30年度～平成35年度）を策定し、その計画に基づき事業を実施している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 国民健康保険被保険者数は減少傾向にあることから、特定健康診査の受診対象者についても減少している。更に新型コロナウイルス感染症の影響による受診控えのため受診率についても減少したが、徐々に回復している。 (見直しや改善等の経過) 特定健康診査受診率向上のため、AI分析を取り入れた受診勧奨を実施。特定保健指導実施率向上のため、文書郵送による再勧奨と頸動脈エコー等の特典を設けた。集団健診受診者に対して結果説明会を実施。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	40歳から74歳の大津市国民健康保険被保険者を対象に					
目的(何のために)	メタボリックシンドロームに着目した健診結果の該当者・予備群や生活習慣病を早期に発見し、保健指導を行うことで、生活習慣の見直しを行ない、また、重症化を予防するために医療受診につなげていくため					
手段(どのようなやり方で)	特定健康診査は、個別健診を滋賀県医師会（医療機関）に、全国健康保険協会との集団健診を事業者に委託の上実施し、また特定保健指導は、医療機関や事業者に業務を委託すると共に、直営でも実施することで					
成果(どのような状態にするのか)	大津市国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸を図り、医療費の伸びの抑制を目指す。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	204,051	203,603	242,036	239,835	237,486	235,206	232,959
事業費	188,475	185,708	224,361	222,160	219,811	217,531	215,284
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	92,279	92,307	107,329	100,000	100,000	100,000	100,000
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	96,196	93,401	106,462	113,149	110,889	108,664	108,664
一般財源	0	0	10,570	9,011	8,922	8,867	6,620
人件費計	15,576	17,895	17,675	17,675	17,675	17,675	17,675
事務・技術(人)	1.42	1.71	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.36	1.47	1.55	1.55	1.55	1.55	1.55
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

470 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0157
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 00563 特定健診・保健指導事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
11-25-05-05-80-00-01-00	特定健診・保健指導事業費	健康保険部保険年金課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 特定健診受診者数	人	22,629.00	23,141.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00	23,651.00
		16,656.00	16,454.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) 保健指導実施者(終了者)数(当該年度は利用者数)	件	469.00	539.00	611.00	611.00	611.00	611.00	611.00
		258.00	255.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特定健診受診率	%	46.00	48.00	50.00	50.00	50.00	50.00	50.00
		35.40	36.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 特定保健指導実施率 ※前年度法定報告の数値	%	24.00	27.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		14.50	21.30	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1	妥当性 実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2	有効性 事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3	効率性 事業手法は効率的であるか	A 効率的である	B
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4	施策への貢献度 施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
		評価理由	

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	特定健康診査の受診率向上のため、令和4年度については、AI分析を取り入れた受診勧奨に加えSNSによる受診勧奨を実施した。また、生活習慣病の治療のために通院中で特定健康診査を受診しない層への対策のため、医療機関分析を行い、現状把握を行った。なお、令和5年度には、医療機関分析の内容を踏まえ医療機関からの受診勧奨ちらしの配布の実施や、医療機関に対し、「治療中患者情報提供票を提出することで、受診率の向上に寄与できること」を説明していく。特定保健指導実施率向上については、特定保健指導の対象者に対して、直営及び委託による保健指導を実施することと合わせて、利用勧奨を引続き行う。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	受診率の向上に向けて、協会けんぽなどとの協力連携体制を整え、事業の推進に努めていく。また、特定保健指導の実施率向上に向けて、効果的な利用勧奨や保健指導体制を整えていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 00563 特定健診・保健指導事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 特定健診受診者数	人	22,629.00 16,656.00	23,141.00 16,454.00	23,651.00 0.00	23,651.00 0.00	23,651.00 0.00	23,651.00 0.00	23,651.00 0.00
	指標説明	健診受診対象者数(計画)に対する受診者数(法定報告(数値の確定は翌年度の10月))						
(活動) 保健指導実施者(終了者)数(当該年度は利用者数)	件	469.00 258.00	539.00 255.00	611.00 0.00	611.00 0.00	611.00 0.00	611.00 0.00	611.00 0.00
	指標説明	H30年度から健診受診対象者数(計画)に対する保健指導実施件数(法定報告(数値の確定は翌年度の10月))						
(成果) 特定健診受診率	%	46.00 35.40	48.00 36.80	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00	50.00 0.00
	指標説明	受診者数/受診対象者数(法定報告) × 100						
(成果) 特定保健指導実施率 ※前年度法定報告の数値	%	24.00 14.50	27.00 21.30	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00	30.00 0.00
	指標説明	特定保健指導実施者数/特定保健指導対象者数(法定報告) × 100 H30から第2期DH計画						

事務事業評価シート（1/2）

472 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0158
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 01842

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
がん検診推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	011	がん検診推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	健康増進法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>がん検診の受診率向上を目指し、特定の対象者へ無料クーポン券（子宮頸がん検診、乳がん検診）やがん検診受診勧奨案内を個別に通知する。特に女性のがん検診（子宮頸がん、乳がん検診）については、無料クーポン券に加え受診券の個別案内送付により受診勧奨の強化に努めている。</p> <p>検診の結果、精密検査が必要となった後、未受診となっている者に対しても、精密検査を受診するよう個別に勧奨している。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>国民の死亡原因の第一位はがんであり、年間30万人以上の方が死亡している。本市においても、主要死因で全体の30%前後を占めている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成28年度から、がん検診の受診率向上を図るため、従来の無料クーポン券対象者に加え、受診券を送付し個別の受診勧奨を実施している。また、特定の年齢の市民に対して、再勧奨のはがきを送付している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	市民を対象に
目的(何のために)	がんの早期発見により、がんによる死亡率の減少を図るため
手段(どのようなやり方で)	特定の対象者へ無料クーポン券や受診券を送付することにより、がん検診の受診勧奨及び精密検査未受診者への個別勧奨の実施により
成果(どのような状態にするのか)	がん検診の受診を促進し、がんの早期発見、早期治療につなげる。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	14,119	17,648	24,753	24,690	24,690	24,690	24,690
事業費	9,319	12,188	15,393	15,330	15,330	15,330	15,330
国庫支出金	4,611	5,869	6,944	7,042	7,042	7,042	7,042
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	4,708	6,319	8,449	8,288	8,288	8,288	8,288
人件費計	4,800	5,460	9,360	9,360	9,360	9,360	9,360
事務・技術(人)	0.60	0.70	1.20	1.20	1.20	1.20	1.20
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

473 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0158
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01842 がん検診推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-15-00-25-00	がん検診推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)大津市がん検診受診率（69歳以下）	%	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00	30.00
		23.22	24.88	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)がん検診精密検査受診率	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		95.14	95.66	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	国の指針に基づき、受診勧奨の対象や内容を見直しながら、市民が継続してがん検診を受診するよう効率的な取組を進めていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	がん検診の更なる受診率向上を目指し、市民が継続受診できるよう事業を推進していく。		

事務事業評価シート（1/2）

475 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0159
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 01886

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
多胎児家庭育児支援事業

所属長名 白須 誠義
記入者 渡邊 俊介

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	022	多胎児家庭育児支援事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			

根拠法令等	大津市多胎児家庭育児支援事業実施要領				
事業概要	<p>(事業概要) 多胎児を養育している家庭に対し、ホームヘルパー等を契約した事業所より派遣し、家事、育児等の支援を行う。保護者の身体的及び精神的負担の軽減を図り、安心して子育てを行うことができる環境づくりの促進に資することを目的とした事業である。1世帯の1週あたりの利用回数は6回まで。利用時間は多胎児の出生後から3歳の誕生日の前日までの間に1世帯あたり100時間を限度とする。 (予算事業の見直し) 従来、単独の予算事業としていたが、令和5年度から母性保健事業に編入した。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 多胎児を抱える保護者の負担は心身ともに大きいことから、令和2年度には母子保健医療対策総合支援事業に多胎妊産婦等支援が追加された。新型コロナウイルス感染症の影響により利用世帯数、総利用時間が減少していたが、令和3年度以降は増加傾向となっている。 (見直しや改善等の経過) 多胎児を養育する全家庭に制度の案内を行うことや、電子申請を導入することなどにより、利便性の向上を図った。また、令和4年度以降、既存登録事業所との委託契約の維持及び新規事業所の参入促進のため、委託料の見直しを行っている。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	大津市内に住所を有する多胎児（出生から3歳の誕生日の前日まで）を養育する家庭を
目的(何のために)	多胎児を養育している保護者の身体的及び精神的負担の軽減を図るため
手段(どのようなやり方で)	ホームヘルパー等を登録事業所より無料（1世帯あたり100時間を限度とする）で派遣し
成果(どのような状態にするのか)	子育てに対しての育児負担を軽減することで、安心して子どもを産み育てられる環境づくりを促進する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		3,251	2,730	0	0	0	0	0
事業費		1,341	1,640	0	0	0	0	0
国庫支出金		447	546	0	0	0	0	0
県支出金		447	546	0	0	0	0	0
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0	0	0
一般財源		447	548	0	0	0	0	0
人件費計		1,910	1,090	0	0	0	0	0
事務・技術(人)		0.20	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.10	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

476 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0159
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01886 多胎児家庭育児支援事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-15-00	多胎児家庭育児支援事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)訪問実家庭組数	組	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		22.00	36.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)利用率	%	25.00	25.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		14.60	26.70	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)平均利用時間	時間	35.00	35.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		28.50	20.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	児童福祉法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	平均利用時間は減少しているが、利用率は増加している。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	専門性の高い事業所に委託し、効果的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	出産から育児への切れ目のない支援の役割を果たしている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	令和3年度に比べ1世帯あたりの利用時間は減少したものの、利用世帯数、総利用時間は増加した。今後についても、利用者のニーズを踏まえ事業を推進する。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	引き続き、利用者ニーズ等を踏まえながら、事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01886 多胎児家庭育児支援事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 訪問実家庭組数	組	35.00 22.00	35.00 36.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	訪問実家庭組数						
(成果) 利用率	%	25.00 14.60	25.00 26.70	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	訪問実家庭組数 36 / 135 総家庭組数						
(成果) 平均利用時間	時間	35.00 28.50	35.00 20.80	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00	0.00 0.00
	指標説明	総利用時間 748 / 36 訪問実家庭組数						

事務事業評価シート（1/2）

478 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0160
 評価年度 令和 4年度
 所属 1402
 事務事業番号 01887

進捗区分 所属評価
 健康保険部保健所健康推進課
 妊婦健診事業

所属長名 白須 誠義
 記入者 北村 敦

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	001	子ども・子育て支援の充実				
取組の方向性	001	出産前からの切れ目のない支援				
事務事業	016	妊婦健診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	母子保健法					

事業概要	(事業概要) 安心で安全な出産のために、妊婦と胎児の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦に対する保健指導及び健康診査に対する公費負担を実施する。					
------	---	--	--	--	--	--

事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	(事業を取りまく社会環境) 出産年齢の上昇等により、健康管理がより重要となる妊婦が増加傾向にあると共に、経済的な理由等により必要な健康診査を見合わせる妊婦も見られることから、母体や胎児の健康を確保する上で、妊婦に対する保健指導及び健康診査の重要性、必要性が一層高まっている。 (見直しや改善等の経過) 多胎妊婦の健康診査は、リスクの早期発見のために通常より多くの回数が必要であることから、基本受診券14枚分に加え、令和2年10月より基本受診券2枚(計16枚)と検査券(超音波検査)2枚を追加し、更に令和3年4月から基本受診券3枚(計19枚)を追加した。					
----------------------	---	--	--	--	--	--

【事業分析】

対象(何又は誰を)	妊婦が					
目的(何のために)	母体や胎児の健康保持のため					
手段(どのようなやり方で)	母子健康手帳交付、妊婦健診受診券交付、妊婦相談を行うことにより					
成果(どのような状態にするのか)	全ての妊婦が安全な妊娠と出産ができる。					

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	229,230	226,347	212,705	248,514	248,401	248,502	248,746
事業費	210,998	209,735	196,891	232,700	232,587	232,688	232,932
国庫支出金	319	331	326	12,413	12,103	11,898	11,763
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0
一般財源	210,679	209,404	196,565	220,287	220,484	220,790	221,169
人件費計	18,232	16,612	15,814	15,814	15,814	15,814	15,814
事務・技術(人)	1.69	1.47	1.32	1.32	1.32	1.32	1.32
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	1.52	1.66	1.78	1.78	1.78	1.78	1.78
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

479 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0160
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 01887 妊婦健診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-20-00-10-00	妊婦健診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 母子健康手帳、 受診券交付者数	人	2,450.00	2,405.00	2,414.00	2,421.00	2,428.00	2,435.00	2,442.00
		2,400.00	2,407.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 妊娠初期での母 子健康手帳交付割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		97.00	96.59	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 妊婦健康診査受 診券利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
		89.30	88.18	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥 当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	母子保健法に基づく事業であり、市が実施するのが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄 に記載の成果は上がっ ているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	成果は微減であるが、安全安心な妊娠、出産につながっている。		
3 効率性	事業手法は効率的であ るか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	県内統一で事務処理を委託しており、効率的である。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献 しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	妊娠から出産、育児へと切れ目ない支援の役割を果たしている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	妊娠期から出産に向けて母親及び胎児の健康を維持し安心した出産を迎えるため、ニーズ等を踏まえて引き続き事業を実施していく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	安全安心な妊娠継続と出産のために、定期的な健診の受診が出来るようニーズ等を踏まえ事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 01887 妊婦健診事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)母子健康手帳、 受診券交付者数	人	2,450.00	2,405.00	2,414.00	2,421.00	2,428.00	2,435.00	2,442.00
	指標説明	2,400.00 2,407.00 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 母子健康手帳、受診券交付者数						
(成果)妊娠初期での母 子健康手帳交付割合	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
	指標説明	97.00 96.59 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 妊娠初期（妊娠 1 1 週以下）に母子健康手帳を交付した者の割合						
(成果)妊婦健康診査受 診券利用率	%	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
	指標説明	89.30 88.18 0.00 0.00 0.00 0.00 0.00 妊婦健康診査受診券（基本受診券）の利用率（多胎外人数×14回+多胎×19回）/健診受診延べ数						

事務事業評価シート（1/2）

整理番号 0161
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 02237

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
胃がんリスク検診事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	013	胃がんリスク検診事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	民間委託					
評価区分	対象	主な取組区分	対象外			
根拠法令等	大津市手数料条例、大津市胃がんリスク検診（胃の健康度検査）実施要領					

事業概要	<p>(事業概要) 任意型胃がんリスク検診（胃の健康度検査）を実施している。胃がんのリスクが高い方は精密検査（胃内視鏡検査）につなげ、リスクの低い方は胃がん検診の定期受診につなげることで胃がんの早期発見、早期治療につなげる。検診の精度管理は胃がん検診協議会の中でやっている。 なお、令和5年度から、本事業は胃がん検診事業に編入した。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境) 胃がんの罹患率、死亡率は減少傾向にあるが、がん死亡の上位を占めている。また胃がん発症にはヘリコバクター・ピロリ菌感染との関連が大きいことが明らかになっている。 (見直しや改善等の経過) 年度年齢41歳から5歳刻みの年齢の方を対象とした受診勧奨が令和3年度で2巡したことから、令和4年度から受診券の個別通知を廃止している。現在は、年度年齢が40歳以上60歳以下で、これまでに胃がんリスク検診を受けたことがない市民を検診の対象としており、各種がん検診の受診券に併せて胃がんリスク検診の案内を送付している。</p>				

【事業分析】

対象(何又は誰を)	当該年度において40歳から60歳であって、今までに胃がんリスク検診を受けたことが無い市民を対象に
目的(何のために)	胃がん発症と関連が深いピロリ菌感染の有無を早期に発見し医療につなげることで、胃がんの死亡率の減少を図るため
手段(どのようなやり方で)	検診及び精密検査を市内実施医療機関で行い
成果(どのような状態にするのか)	ハイリスク者を早期に医療につなげる。

【コスト】 (単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	9,682	5,726	0	0	0	0	0
事業費	5,614	1,596	0	0	0	0	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	1,341	229	0	0	0	0	0
一般財源	4,273	1,367	0	0	0	0	0
人件費計	4,068	4,130	0	0	0	0	0
事務・技術(人)	0.40	0.45	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	0.28	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

482 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0161
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 02237 胃がんリスク検診事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-65-00	胃がんリスク検診事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) 受診者数	人	1,400.00	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		1,073.00	181.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 受診率	%	7.30	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		5.10	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) 精密検査受診率	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		74.10	77.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	任意型検診だが、対策型と同様に市が実施することが妥当である。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	B
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	受診率は低下したが、精密検査受診率は増加した。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	市内の多くの医療機関で受けられる環境が整っている。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	B
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	胃がんの予防や早期治療につながっている。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	胃がんのリスクに応じたがん検診への受診勧奨に貢献しているが、今後ピロリ菌感染者が減少していく中で、検診対象者も減少するため、対策型がん検診（胃エックス線検査、胃内視鏡検査）に重点を置いた体制にしていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	胃がん検診の状況を踏まえながら、事業を推進していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02237 胃がんリスク検診事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)受診者数	人	1,400.00	500.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	1,073.00	181.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
胃がんリスク検診の受診者総数								
(成果)受診率	%	7.30	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	5.10	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
受診者数÷対象者数×100								
(成果)精密検査受診率	%	100.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	指標説明	74.10	77.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
精密検査受診者数÷要精密検査者数×100								

事務事業評価シート（1/2）

484 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0162
評価年度 令和 4年度
所属 1402
事務事業番号 02672

進捗区分 所属評価
健康保険部保健所健康推進課
がん対策推進事業

所属長名 白須 誠義
記入者 大泉 聡志

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	003	生き生きと健康に過ごせるまちにします				
施策	007	健康増進と地域医療の充実				
取組の方向性	001	健康づくり活動の促進				
事務事業	014	がん対策推進事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	その他					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			

根拠法令等	がん対策基本法、大津市がん対策推進条例				
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>「大津市がん対策推進条例」が平成28年4月に施行され、がんの予防及びがんの早期発見・早期治療、がんになっても安心して暮らせるまちづくりを推進していくため、「大津市がん対策推進基本計画」（平成29年度から令和6年度）を策定し、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者、市がそれぞれの役割を持ち、協働のもとでがん対策を推進していく。</p>				
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>【事業を取りまく社会環境】日本人の2人に1人は一生のうちに何らかのがんに罹患すると言われ、予防、早期発見に加え、若い世代から高齢者まで様々なライフステージにおいて日常生活と療養の両立ができる支援が求められている。令和2年度に、新型コロナウイルス感染症の国内流行によりがん検診の受診率が低下した。令和4年度は受診率が増加傾向にあったが、コロナ流行前の水準までは戻っていない。</p> <p>【見直しや改善等の経過】平成29年6月に大津市がん対策推進基本計画を策定し、令和3年度に中間評価を実施した。令和7年度からの次期計画策定に向け、令和5年度は市民・事業所を対象とした意識調査を実施するとともに、計画の内容の検討をすすめる。平成30年度からアピアランスケア支援事業を開始しており、令和4年度は、小規模事業所を対象とした働く世代へのがん対策推進事業を実施している。</p>				

【事業分析】	
対象(何又は誰を)	市民、保健医療関係者、事業者及び教育関係者を対象とし
目的(何のために)	がんの予防及び早期発見の推進をはじめ、療養生活の質的向上及びがん患者とその家族への支援を行うため
手段(どのようなやり方で)	大津市がん対策推進委員会に諮りながら、がん対策推進について検討を行い
成果(どのような状態にするのか)	大津市がん対策推進基本計画に基づき、8か年の計画期間において適宜見直しを行いながら、効果的な施策を展開する。

【コスト】		(単位：千円)						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
		決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト		10,136	19,227	22,356	22,000	18,904	18,904	18,904
事業費		2,378	9,389	6,854	6,498	3,402	3,402	3,402
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0
県支出金		589	713	650	725	725	725	725
地方債		0	0	0	0	0	0	0
その他		0	862	0	0	0	0	0
一般財源		1,789	7,814	6,204	5,773	2,677	2,677	2,677
人件費計		7,758	9,838	15,502	15,502	15,502	15,502	15,502
事務・技術(人)		0.90	1.15	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90
技能労務(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)		0.18	0.28	0.22	0.22	0.22	0.22	0.22
嘱託(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費		0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

485 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0162
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 事務事業番号 02672 がん対策推進事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-65-10-00-75-00	がん対策推進事業費	健康保険部保健所健康推進課

【定量評価】

指標名	単位	上段：目標値 下段：実績値						
		令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動) アピランス支援事業助成件数	件	100.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
		137.00	144.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動) ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	1,100.00	1,400.00	2,000.00	2,100.00	2,200.00	2,300.00	2,400.00
		1,324.00	1,979.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) がんに関する知識を有している人の割合	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果) T A Cキャンペーン活動数	機関	500.00	500.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
		96.00	113.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
		評価理由	
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
		評価理由	
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
		評価理由	
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
		評価理由	
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	事業の進め方に改善が必要	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	事業所におけるがん検診受診率の向上や、就労と療養の両立支援の強化を図るための取組については、令和4年度に実施した事業を評価し、以後の取組方針を検討する。また、ホームページ「がんに関する情報サイト」の内容を充実させるとともに、T A Cキャンペーンを市民や事業所に広く周知し、認知度を高める。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	がん対策推進基本計画に基づき、市民、保健医療関係者、事業者、教育関係者等が連携しながら、総合的に事業を推進していく。また、令和7年度からの次期計画の策定を目指し、がん対策推進委員会に諮りながら計画的に進めていく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 所属評価
 所属 1402 健康保険部保健所健康推進課
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02672 がん対策推進事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)アピアランス支援事業助成件数	件	100.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00	130.00
	指標説明	137.00	144.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		医療用ウィッグ購入費用助成の数						
(活動)ホームページ「がんに関する情報サイト」の閲覧数	件	1,100.00	1,400.00	2,000.00	2,100.00	2,200.00	2,300.00	2,400.00
	指標説明	1,324.00	1,979.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		がんに関する情報サイトの閲覧件数						
(成果)がんに関する知識を有している人の割合	%	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00	70.00
	指標説明	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		各種啓発事業等におけるアンケートで「多くのがんは早期発見により治療が可能と知る人」の割合。令和3、4年度は、新型コロナウイルスの影響により、指標の実績を得る機会がなかった。						
(成果)TACキャンペーン活動数	機関	500.00	500.00	200.00	200.00	200.00	200.00	200.00
	指標説明	96.00	113.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		12月～2月にがんについて考える活動をした機関数。令和4年度までの活動実績をもとに、令和5年度以降の目標値を見直した。						

事務事業評価シート（1/2）

487 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0163
評価年度 令和 4年度
所属 1427
事務事業番号 02392

進捗区分 評価完了
健康保険部保健所子ども発達相談センター
子ども発達相談事業

所属長名 龍田直子
記入者 宮崎敬二

【基本情報】

総合計画	03	大津市総合計画 第2期実行計画				
基本方針	001	子どもから高齢者までが輝いて、魅力あふれるまちを創ります				
基本政策	001	子どもの未来が輝くまちにします				
施策	002	子どもを守る仕組みの充実				
取組の方向性	003	一貫した子どもの発達支援				
事務事業	002	子ども発達相談事業				
新規継続区分	継続					
運営方法	直営					
評価区分	対象	主な取組区分	対象			
根拠法令等	発達障害者支援法					
事業概要	<p>(事業概要)</p> <p>発達障害やその疑いのある3歳6か月児健診終了後から中学生までの子どもと、その保護者に対して、医師や発達相談員、保健師、家庭相談員などが相談支援を行うとともに、校園連携担当が、保育園・幼稚園・小中学校と連携することで、家庭と校園の子どもに対する理解を促し、養育、保育及び教育における配慮や支援につなげる。また、保護者や関係職員を対象とした学習会や研修会を企画運営し、子どもの発達支援に関する知識の普及を図る。</p>					
事業を取りまく社会環境とこれまでの見直し	<p>(事業を取りまく社会環境)</p> <p>コロナによる子どもの心や発達への影響により、情緒面、生活面、学習面、不登校などの問題が増加している。また、市民への利便性向上、関係機関との迅速な連携にオンライン化も求められている。</p> <p>(見直しや改善等の経過)</p> <p>平成27年2月のセンター開設以来、年々増加する相談ニーズに対応するため、専門職員（正規・会計年度任用職員）の充実を図ってきた。また、オンラインによる相談、カンファレンス、講演会も実施している。</p>					

【事業分析】

対象(何又は誰を)	3歳6か月児健診終了後から中学校卒業までの発達障害やその疑いのある子どもとその保護者、または対象児が所属する保育園・幼稚園・学校の担当者など関係者を対象に
目的(何のために)	保護者からの発達に関する相談に対して、子どもの発達、特性、環境要因を総合的に評価して、保護者および所属機関の子どもに対する発達の理解を促し、子どもの発達課題を踏まえた適切な養育や保育、教育につなげることを目的として
手段(どのようなやり方で)	医師や保健師、発達相談員、作業療法士、家庭相談員などが相談支援を行うとともに、校園連携担当を中心に、保育園・幼稚園・こども園・小中学校等と連携する。また、専門的知識の普及のため保護者や関係職員を対象とした学習会や研修会を行なうことで
成果(どのような状態にするのか)	発達に課題を持つ子どもとその保護者が、低年齢から相談支援を開始し、義務教育年代まで継続的に相談支援を実施する。

【コスト】

(単位：千円)

	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
	決算額	決算額	予算額	計画額	計画額	計画額	計画額
トータルコスト	76,382	78,014	77,705	82,573	80,456	80,557	80,456
事業費	7,627	7,471	7,552	9,302	7,185	7,286	7,185
国庫支出金	858	986	1,058	962	962	962	962
県支出金	429	493	529	481	481	481	481
地方債	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	200	300	0	0	0	0
一般財源	6,340	5,792	5,665	7,859	5,742	5,843	5,742
人件費計	68,755	70,543	70,153	73,271	73,271	73,271	73,271
事務・技術(人)	4.70	4.70	4.65	4.70	4.70	4.70	4.70
技能労務(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
再任用(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
会計年度任用(人)	10.05	10.93	10.93	11.81	11.81	11.81	11.81
嘱託(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
臨時(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他経費	0	0	0	0	0	0	0

事務事業評価シート（2/2）

488 頁
令和 5年 9月 5日

整理番号 0163
 評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1427 健康保険部保健所子ども発達相談センター
 事務事業番号 02392 子ども発達相談事業

【関連予算情報】

予算事業	予算事業番号	予算所属名称
01-20-05-70-15-00-20-00	子ども発達相談事業費	健康保険部保健所子ども発達相談センター

【定量評価】

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	上段：目標値 下段：実績値	
							令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談支援のべ件数	件	6,600.00	7,150.00	7,200.00	7,250.00	7,300.00	7,350.00	7,350.00
		7,149.00	7,571.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(活動)相談実人数	人	1,000.00	1,050.00	1,100.00	1,150.00	1,200.00	1,250.00	1,250.00
		1,101.00	1,111.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)関係機関連携件数	件	2,300.00	2,450.00	2,500.00	2,550.00	2,600.00	2,650.00	2,650.00
		2,430.00	2,913.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(成果)報告書等作成件数	件	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
		925.00	966.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

【定性評価】

評価項目	評価の観点	基準	評価
1 妥当性	実施主体又は手段は妥当か	A 妥当である	A
		B ほぼ妥当である	
		C あまり妥当ではない	
		D 妥当ではない	
評価理由	根拠法令に基づき、発達障害児等の市民相談に対応している。		
2 有効性	事業分析の「成果」欄に記載の成果は上がっているか	A 上がっている	A
		B やや上がっている	
		C あまり上がっていない	
		D 上がっていない	
評価理由	相談支援の早期開始と、学齢期を通じた継続支援ができています。		
3 効率性	事業手法は効率的であるか	A 効率的である	A
		B やや効率的である	
		C あまり効率的でない	
		D 効率的でない	
評価理由	増加する相談ニーズに限られた体制で対応している。		
4 施策への貢献度	施策目標の達成に貢献しているか	A 貢献している	A
		B やや貢献している	
		C あまり貢献していない	
		D 貢献していない	
評価理由	子育て支援及び次世代を育てることに寄与している。		
評価理由			

【所属評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
所属コメント (400文字)	年々増加し、複雑化・多様化する相談ニーズに対し、職員の専門性向上と積極的な関係機関連携はもとより、相談体制の充実（オンライン化）や、市民への情報発信（ホームページ、講演会）も行い、工夫して対応している。 引き続き就学前からの相談開始に重点をおき、幼児期から学齢期まで一貫性と継続性をもった親子への相談支援の充実を図っていく。		

【部局評価結果】

総合評価	計画どおり事業を進めることが適当	事業の方向性	現状維持
部局コメント (400文字)	発達に課題のある子どもの養育、保育、教育を支える機関として相談実績を積み上げている。複雑かつ多様化する相談内容に、引き続き専門性をもって対応し、関係機関とも積極的に連携していく。		

事務事業評価指標一覧

評価年度 令和 4年度 進捗区分 評価完了
 所属 1427 健康保険部保健所子ども発達相談センター
 総合計画 03 大津市総合計画 第2期実行計画
 事務事業番号 02392 子ども発達相談事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	令和 8年度	令和 9年度
(活動)相談支援のべ件数	件	6,600.00	7,150.00	7,200.00	7,250.00	7,300.00	7,350.00	7,350.00
	指標説明	相談を希望した子どもと保護者に対する相談支援（相談・関係機関連携）の総数						
(活動)相談実人数	人	1,000.00	1,050.00	1,100.00	1,150.00	1,200.00	1,250.00	1,250.00
	指標説明	相談支援を行った子どもの実人数						
(成果)関係機関連携件数	件	2,300.00	2,450.00	2,500.00	2,550.00	2,600.00	2,650.00	2,650.00
	指標説明	学校、園などの関係機関と連絡連携した総数						
(成果)報告書等作成件数	件	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
	指標説明	925.00	966.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00